

江東特委ハ 中央國 國軍令決議及 布魯克特委

目前先ノ緊急任務決議案ノ根據ニテ

目前政治形勢下、東協國ノ緊急任務決議案

(五三年七月一日)
南支那特別事務
軍事委員會決議

一、情勢

(1) 目前下ニシテ建設ノ偉大ニ成功ト世界革命ノ急激發展ニ依リ世界
資本主義ノ經濟危機ハ刻々トシテ深クシテ遠程ニ走リツ、アハナリ
茲ニ統治階級如華人最劣者ニシテ、我々ヲ挽回セシムル為メ各種等
級ヲ以テ表現シテ維テ極至極暴トシテ行テ敢行シテ、南支那ニ對テ
右種殖民地的野欲ト併セテ、我々國戰干渉スルニシテ、進攻準備
ハ大規模的ニ進行セシメ、ト同時ニ、(シナトイ)ト红军進攻ハ益々
々其態ヲ加フナリ、而シテ奴等ハ相ニ向テ、亦復相及ニ依リ、中南ニ於テ
矛盾ハ益々激化ナリ、即チ南方ニ於テ、其味衝突ト揚州ニ於テハ
本トシテ衝突ハ繼續セシメ、トシテ、一層激烈化スルニシテ、迎立態度

的、我々國間ノ矛盾、亦亦此化シ、目下中國天地ニ軍閥ノ大混戰
危機ヲ孕ミ、アハナリ

(2) 軍閥混戰ノ危機、全國的ニ見テ、將介不在、以是、我々、亦亦相及ス
ルニテ、不構、勢、能、和平ヲ為シ、ハ、將、一、大、衝突、ヲ、招、来、セ、サ、ル
、カ、サ、ル、ナ、リ、觀、ヨ、ク、張、學、良、ハ、一、國、内、ニ、シ、テ、兵、ヲ、以、テ、廣、大、地、盤
ニ、勢力、ヲ、擴張、シ、度、カ、ハ、倍、上、階、級、セ、シ、ム、ル、カ、也、ト、即、チ、將、介、不在、ハ
、此、上、ニ、シ、テ、脅、威、ヲ、加、ヘ、ル、カ、ト、同、時、ニ、將、介、不在、ハ、胡、漢、民、監、禁、亦、内、容
、ニ、於、テ、大、ニ、急、激、ヲ、存、ス、ル、カ、ト、同、時、ニ、日、前、迄、中、共、ヲ、擁、護、シ、テ、
、我々、ハ、今、ニ、至、ル、カ、ト、非、特、曖、昧、ト、シ、テ、南、方、ニ、對、シ、テ、南、京、政府、對、立、
、開、ク、ル、意、味、ヲ、存、ス、ル、カ、ト、同、時、ニ、胡、漢、民、監、禁、ハ、軍、中、間、接、サ、レ、
、各、者、各、地、方、軍、閥、其他、在、各、方、子、等、ハ、各、四、方、ニ、激、動、シ、ア、ル、ナ、リ、
、三、奉、天、系、軍、閥、内、部、ニ、對、シ、テ、南、京、政府、兩、派、ノ、矛盾、衝突、ハ、漸、次、激
、化、シ、テ、危、險、セ、ル、レ、ア、ル、ナ、リ、

I-0773

0:06

(3) 斯ノ全圖的軍閥混戦ノ危機迫到ニ際シ各軍閥等ハ悉ク革命勢力抹殺之注力ヲ示シ同下國共産軍閥ハ一切反革命力量ヲ集中シテ蘇区及红军ヲ進攻シ非蘇区ニ於テ殘餘ニ白軍と稱シテ施行シ又一方者謂テ好ク盛ニテ盛タル劣劣新彙ヲ欺騙分化セシムルナラバ奴等ハ走狗ト爲レテ党内ニ侵入セシメ(江西ニ在リテ)白着叛變者ヲ逐ハス等 党用破壊的陰謀人徳ヲテ計画的ナリ 然レ南方ノ红军ハ日ヲ逐フテ格大ニシテ漸次弱クセラルナリ 鄂妙均一師團ハ全滅セラル 岳維儀(蘇区ニ武装解除セラル)封連安徽河南等ノ城市ハ蒋介石ノ二次進攻ヲ撃退シテ多大ノ勝利ヲ得 尚戦勝ニシテ遊撃戦ハ漸次北中國ニ開始セラル 五ノ上ノ红军ノ聯軍ハ漸次京密ヲ加ヘテアリ 袁克定ハ此種ノ矛盾ヲ各軍閥ハ良ク利用シ奴等ノ後進ヲ頭蓋クキナリ

(4) 滿洲ハ列強帝國之取扱ナリ 〇〇〇〇〇〇直政ニ最急務ナリ 而シテ

奴等ノ〇〇〇〇〇〇〇〇 對スルニ實ハ中國ヲ根柢トシタルガ「ハロフス」協定破壞後ハ其に實ク得ル所ナカリキ 此等ノ奴等ハ國民會議ヲ利用シ中東路 鐵路及蒙古國內直系等ノ問題等ヲ提出シ 〇〇〇〇 以テ製造進取ノ準備ヲ今規模的ニ進メテ「アム」

〇 滿洲ハ中東日米ノ誤解後難セル關係下ニ於テ種々矛盾ト勃興シ準備トシ 日米ノ矛盾ヲ對テ之ノ矛盾ト衝突ハ不可避的 事實ナリ 張學良ノ反蔣軍閥對テ對スル果ハ何カノ軍事上ノ優越地位ヲ得、弱點ヲ利用シテ勢力範圍ヲ拡大スルト同時、將來ノ軍閥戰爭ヲ準備シテ「アム」ニ對シテ一〇〇〇等ノ擴張ニハ根本的矛盾アル故ニ暫時的安全ニシテ「アム」ノ要協ハ、水カヲサルヘキヲ信スルナリ 一方ニ蔣張ノ暫時的要協ハ、張方ヲ甘ん將來、一層獲衡 矣ト是起スルハ「アム」對テ相反ノ蔣張間ノ勢力増強、轉ニ彼等ノ増進元 矛盾衝突ハ一層深刻トナルニ 彼等ノ矛盾衝突ハ緩和セシム

I-0773

レサレトスナラニ却テ其能激烈スルヲ亦其甚クハ勢力擴張ハ将来奉
系軍閥内都新舊両派ノ衝突ヲ助長スル事トナリ、亦蒋介石ハ滿州之御
用國民黨ヲ設立スルヘク企圖シ其甚クハ同族ノ權力自之國民黨ヲ増殖シテ
蒋介石國民黨ニ対抗セシメトスルヲ、斯リ蒋介石同族奉系新舊軍閥間
ノ矛盾衝突ハ一層極度激化スルナリ

全國革命運動ノ向テ發展スル形勢下、於テ滿州群眾所率、一、天潢
貴族ノ政治擴張運動、兵ヲ動搖逃避ハ休兵向テ發展スルナリ、滿州
國民黨之協、國民黨ノ欺騙政策ハ、亦滿州ニモ適用セラル、事トナリ、
甚色王會ヲ組織シホカ制ヲ施行シ國民黨ノ種々宣傳ヲ加緊ナリ、此等
欺ハ勿ク表現セラル、此等ハ必ス群众間中ノ責任セシ及経歴比
較的缺乏セシ群眾中ニ入込ニ急進他派ノ誘及欺騙ヲ果敢排漢
ニテ反テ、情亦テ保障スルナリ

二、過去工作検査ト目前ノ緊急任務

団体活動其ハ建立以来、多少ノ發展ヲ見セリ、ト雖モ其自身ノ存
続ニ材料サレ、別ニナカリキ、亦未だ健全な建立ナリ、極的補助助
下ニ於テ、高位和特委ノ兼テ、關係上特委本身工作ニ対シテ、
シニアラサルナリ、是レ、單次被壞ヲ被リ、又公認ナリ、
昔ナリ、斯等ノ事事情、固下ノ現状、如何ノ各報(正和性情外)
ハ完全ナル關係ヲ持シ、情又ハ、亦、其ノ關係ハ、
先ニ特委本身ノ通告ハ、一、
織ハ、非常ニ微弱ニシテ、青年ノ群众ニ導ハ、非常ニ、
協特委第一次執行委員会ハ、滿州省委ノ指示ト、
ニ於テ、過去工作ノ左ニ似、空ト、
ニ、
ニ、
ニ、
ニ、
ニ、

三、西條戦線及討伐問題

東滿ハ宣傳要政ノ際、西條戦線及討伐問題提出セラル、而シテ、

其毎之各條戰線及對口類ハナリナリナリナリ 其長官際ニ於テハ一ノ成績ヲ
具體的斗争成績ハ表現ナリナリナリ 亦一級同志ハ市內路ニ考慮ノ際必
系統的又ハ上層ノニ重視シ各々同志ノ實際ニ於テ中反對ナリナリナリ
ニナリ 其後、於テ系統的陰謀ハ未ダ表現事實別、ナリ又實際者ハ
或ハ左傾冒險主義ト成候機會ニ於テハ包含ニ在セリナリナリ 此ハ條
來事(運)動幕屋ニ大ニ危險性ナルノカサナリ
各級同志等ハ必ス力強ク斗争ヲ為サシメ、各等ノ勝利ヲ保障シ得ル
必ス各々斗争中ニ於テ彼等ノ曖昧ニ理解ヲ克服セリナリナリ
彼等醜々假面ヲ露露シ、如實ニ暴露セシメ、同時ニ以テ逐漸
消滅、民族派、露長新等々ノ如等ヲ根本的ニ肅清シ併セテ團
結主義的傾向ト力強ク戦フ(キヤ)

長、組織問題

組織破壊ハ斗争破壊ト同一時ニ發生スル組織多クハ力強ク

- 斗争ノ度、同志ヲ度々九ニ組織ヲ持シ得ルト同時ニ度々九ニ組織
多クハ一層大ニ勝利ヲ戰取シ得ルナリ 因テ本場、因テ諸國黨民
基礎ニ上リ、因テ諸黨組織ハ未ダ三階級体系ヲ完全ニ推展
セザリナリ 各級同志ハ強ク力強ク又ハ以テ此ノ一層高層ニ
鞏固ニ斗争力ヲ育チ得ルナリ 基礎ヲ弱ス(キヤ)
- (1) 同志ノ手續ニ就テハ如何ニ條件ヲ設ケ、如何ニ斗争ヲ進メ、如何ニ
黨界混入ヲ防止ス(三ノ條以上斗争結果ヲ見テ)
 - (2) 極的因縁ノ救急ナリ 本ノルニナリ、組織同志等ヲ救急ニ
(非難家ト平等ニ漢族、階級階級ニシテ一層注意)
 - (3) 破壊後ノ救急ナリ 根本ハセ、如何ニ原則ニ於テ同志各々ハ善ク
善ク(若シ地方同志等ニ對シテハ、如何ニ其等同志ノ詳細調査ニ當ル
ナリ、如何ニ救急トナス)
 - (4) 支部生活ヲ加緊ナリ、支部生活、支部生活、基礎組織ナリ、支部生活
入心ナリトセ、如何ニ斗争ヲ進メ、如何ニ斗争ヲ進メ、如何ニ斗争ヲ進メ

I-0773

今同軍の支那に露端々として亦取ら部員に因るに生涯の支那生活に
アハナ良ク認識せしメ個人行動に嚴禁スルコト

(1) 職業に參加スルコト用ハ必ス居大に支那籍蒙中ニ置キテ了リ因員ノ職
業參加ハ其性一ハ辦法ナリ先カ生活ト分限セヨトシ同志ハ(同志セシ
メサハシ)各級團體ハ細密調査シテ其之職業ヲ分限セヨトシ同志ハ(同志セシ)各級團體

(2) 統事東ナ加禁スルコト各級、区委ハ將、区委、支委以下(支部主任)及支教
人教男女別ニ知識習、技術者、群眾団体迄詳細調査
報告スルコト(毎月初コ)

シ、宣傳工作

東滿回春形勢ニ於テ宣傳工作ハ非常ニ重要ナリ右傾機會主義改革派
族聯合会、救國同盟ノ推行ト國民黨ノ民主主義標榜ノ懐柔政策ト1日
走狗世の標榜ノ強奪、虐殺、屠殺、不殺等々、CCは宣傳工作ハ真
に奴等ニ對シテハ多大に利益ヲ蒙ルコトナリ此は過去其の宣傳ハ偽地ナリ

微弱ナリシノミナラス又ハ二月以來ニ現存、宣傳ハ善偏的ナリ不党内の多
又繼續的ナリ不機會的ナリホセ此の多ク不取信の多クナリ之ナラス不
欺騙宣傳又少カサリキ今後は各級團體ハ過去ノ方式方法ヲ全部
變更シテ新的方法ヲ宣傳工作ノ執行スルコトヲ希冀スルナリ

(1) 善偏的ニ廣大に青年勞苦階級ニ各級方式方法ヲ普及セヨトナス
(二年、兩日、夜間日曜等ヲ利用スル)

(2) 繼續不断的ニ各農林工場、都市中ニ於テ普遍問題ヲ提テ宣傳
スルコト(過去宣傳完全日ナシハ宣傳ヲ休止スル)

(3) 各級團體ハ一層多數化セヨ其の宣傳執行スルキナリ蓋シ工場、佃法
促進会、民会、救國團、其の統治階級、救國團ハ此ノ力強ク宣傳スル
(各級會区中ハ指導者ニテハ手腕ハ固キヲ以テ)

(4) 各級團體、宣傳部ハ救國報、民報、道新報
消息ヲ知ラシムルニ(壁報、畫報、道新報)

I-0773

0200

① 本同盟の発展に止るは八月、反帝同盟の付付と、秋收同盟
一定進への新同盟を以て為るは青年解放隊内を以て之

青年運動

因基礎ハ乏階級之脚又ハ勿論其基礎在途ノ經過ハ全職口強クハ
撥蔽之能ハ事主ナリ 各級団部ハ一層強忍ナル努力ヲ以テ亦決定的試
的、老主要各層機關、都市中、同志ヲ大規模的、派遣シテ鞏固ナル
組織ヲ建立スルナリ

(1) 各級団部ハ決定的、能力良キ同志ヲ直接派遣スル(華北各地、沿海、
万寧物、膠濟等地ハ一月半以内、散小隊或五人以上ノ若工隊を以テ
固結、老強者、八道協徳山ハ一月以内三人以上ノ若工隊を以テ)

青年、婦女運動

(2) 各級区ノ若工運動委員會ヲ組織シテ青年團的ヲ特別指導スル
津滬、女性運動ハ同性比之非常、地位セシキ此方面問題ハ非常、主要問題

① 各級団部ハ一層強忍ナル努力ヲ以テ一層強忍ナル婦女解放ヲ發動スル
組織スルナリ

(1) 宣傳ヲ普及シテ、過去ノ宣傳ハ果々上層階級ナリキ(小教學生、小
知識分子)又ハ諺文ヲ以テシテ(可)以上普及ナル貧農婦女
ト都市貧民婦女層ニ深入シテ之ヲ鞏固ナル宣傳ヲナス(ナリ)

(2) 各級団部ハ各支部ヲ組織シテ各在、女子救世ヲ施設スル(講習
會、讀書班、夜校等)而シテ各級団部ノ婦女運動委員會
會ヲ建立シテ各級各級ヲ以テ婦女訓練班ヲ施設スル

反帝運動

過去各級、反帝及撥蔽蘇聯運動ハ倍々、割弱ナリキ中ニモ
青年及反帝運動ハ倍々強クシテ青年ナリキ各級団部ハ
加緊ナル努力ヲ以テ(滿洲全日(反帝節)ニ於テ一層力強ク青年及反
運動ヲ展開スルナリ)津滬ハ京滬日市神戶地帯ニシテ(切實)

I-0773

0202

主義及尚米國帝國主義ヲ自視シテカスルノ如等ハ未嘗テコレヲココ
 七進攻ノ國內トナシ又ハ未嘗一切勞苦中絶群衆ヲ一層全道
 採取セカク完全ニ軍事的占領ヲ為セトスルナリ（未嘗テ対シテ日帝
 ノ軍事の布置）各級団部ハ非常、残忍ナル勞力ヲ以テ全米
 滿一切勞苦青年群衆ヲ總動員シテ如等ノ鉄砲及チ暴徒セシメ
 如等ノ陰謀ヲ破壞シ如等ノ勢力ヲ集積シテ根本的ニ驅逐スル
 ハ我カ國ノ中心任務中最モ主要部ナリ

(1) 尚教青年群衆中ニ入込ニ一層力強ク宣傳シテ之（廣大ニ日帝
 主義ト青年ト關係、過去如等ノ戦争中ニ於テ又ハ將來如等ノ大規
 模的ニ準備シテ戦争中勞苦青年ノ受ル役割、如等ノ中國對
 スル侵果策ヲ詳細ニ）

(2) 全米滿及帝大同盟ハ表々露露ニ都々参加シ力強ク青年
 群衆ニ對シテ宣傳セシムル事

(3) 中國人對シテ宣傳力強クシテ中絶及帝大同盟ヲ建立スル様（八月）
 中國青年群衆ニ深入ルニ

一、青年群衆指導問題

過去米滿國特等ハ確實ニ左右傾的又ハ第二意の錯誤ヲ犯シ
 タルハ以上ニ述ヘタル如ク尚青年指導問題ニ於テハ餘リ又削弱
 タリキ各群衆團體青年部ノ組織ハ非常ニ微弱ニシテ又系統的
 ナリト未ダシテ對スル青年細部ハ完全ニ之先以現在ニ至ルナリ

(農者) 尚少先隊、兒童團ニ對シテ認識ハ非常ニ幼稚ナリナリキ
 (女先隊) 四十才より三十五才ニ又ハ四十才以下ノ青年ノ半軍事的組織トシ
 兒童團ノ役割ハ過去社會主義的像湧入ト知リタリ同下年團兒童
 團ハ過去比才ナル役割）一切他等ノ指導ハ非常ニ不満足ナリキ
 斯ニ過去ノ過誤ヲ指摘シテ、未嘗テ一層今後強固ナル勞力ヲ此一層
 工作ヲ執行スヘキナリ各級団部ハ總テ力アル執行アリシ事ヲ乞フナリ

I-0773

0203

(1) 各級団部及各支部同志等ハ一層級流ルル活動ヲ以テ各青年群衆
団体ヲ總動員シ都市、農村、學校、工場ニ大規模的教
育ノ附屬組織ヲ建立スルニキリ(青年部、讀書會、演劇團、演習會、運動部
等ヲ指シ)

(2) 各級団部ハ各支部中、アル支部全体ヲ動員シテ集會所ヲ設置
ス(若キ者) 毎日正午、夜間、兩日等ヲ利用シ一層廣大ニ青年群衆ヲ
集會セシメ各種演習器具ト新聞雜誌等ヲ綜合シテ唱歌遊戯、
演習讀書等ヲ任委シ遊ハ操ラズ(注意スルニハ秘密者教ヲ其附屬ニ選
カサレ事) 而シテ亦四五人、六七人組ヲアルコト(各級) 除草ニ從事セム(之
以上) 如ク動員スル、中ニ團ハ深ク(ハ) 之ヲ力強キ指導者ヲ以テキリ
支部長ヲ同志ハ必須的ニ支部會合ニ於テ工作ヲ行ハシムル計画的
ニ指導ヲ受テ文藝訓練ヲシ、之ヲ生活實際ニシテ、情緒ヲ養フ勞働
時間短少、夏期経費取(新聞紙等其外)、自由婚等ノ問題ヲ

九

推動セシメ全体運動ニ往付セシメ斯ク同輩ニ依リ幾多青年勞苦
群衆ヲ隊内ニ吸收シ團ノ威信ヲ高メ團ヲ青年化スルニキリ
(1) 以上決議ノ全体ノ各級団部ハ接受スルニ後各級區委ヲ以テ同級ノ
委員會ヲ召集シ田舎討議批判等ハ活加緊ニ執行セシムル事ヲ
乞フナリ

(2) 若群衆団体青年個體ハ次ニ送付スルニ

五三年七月二十日 四 東島特委
一三年七月二十日 四 近永村秘書處 (洪)

I-0773

0204

支那情勢報告様式

一、支那地方概況

種	地主ノ数及人口	中農ノ数及人口	貧農ノ数及人口
種	地主ノ数	中農ノ数	貧農ノ数
種	人口	人口	人口

二、工人調査表

種	鐵道工人	在農工人	鑛山工人	炭坑工人	所在地
種	人数	人数	人数	人数	

三、統治階級施設

種	日營	自衛隊	陸軍隊	公安隊	偽衛隊	所在地
種	人数	人数	人数	人数	人数	

四、各群衆団体調査

種	少年隊員数	婦女部及会員数	塔子園及数	塔子園及数	塔子園及数	塔子園及数
種	人数	人数	人数	人数	人数	人数

五、金融機關調査表

種	地主ノ数及總額	富農ノ数及總額	中農ノ数及總額	貧農ノ数及總額
種	人数	人数	人数	人数
種	總額	總額	總額	總額

六、官和供金調査表

種	官和供金調査表	總額	何小和
種	人数	人数	人数

七、支那団体

種	官和供金調査表	民族聯合會	在滿滿協同	救國團	土曜會	根拠地
種	人数	人数	人数	人数	人数	

八、教育機關

種	私立及公立	公立	私立	私立	私立	私立
種	人数	人数	人数	人数	人数	人数

I-0773

0206

支 其 婦 士 若 室 担 責 工
任 他 女 兵 工 傳 職 記 作
別

性別
男
女

年
齡

土
台

休
質

學
識
程
度

向
年
方
畧

技
術

職
名
別

肉
體
環
境

區 年 月 日

幹部補査表

I-0773

0207

技術者調査表様式

現任姓名	年令	技術種類	出身地	体質	身長	従軍年数	職歴	備考
------	----	------	-----	----	----	------	----	----

備考

(1) 身長、米、髪、足、用

(2) 体質、中国、朝鮮、シベリア

(3) 備考欄に不具者ヲ記入ス

(4) 技術者調査に因る以外各書年、親縁関係ヲ記入ス

(5) 目下技術者之身体健康、巧妙、聰敏、法操ニシテ各種技術ヲ習得ス

、容易ナル同志ヲ包摂ス

(6) 技術種類ハ、電信電訊装置、無線電装置、測圖、技術寫真法、車、自動車、汽機、造船、騎馬、遊撃、自給車、木工、鉄工、皮革、軍樂、射撃、各種機械修理、駈歩、早歩、区隊、歩哨

、往來行程、裁縫術、化粧術、職工、彫刻、理髮、修繕、製造及供用、印刷、印刷機使用、投石、漫畫、其他各種細工、水泳等

必要調査報告ス

I-0773

0208

統計表

1991年

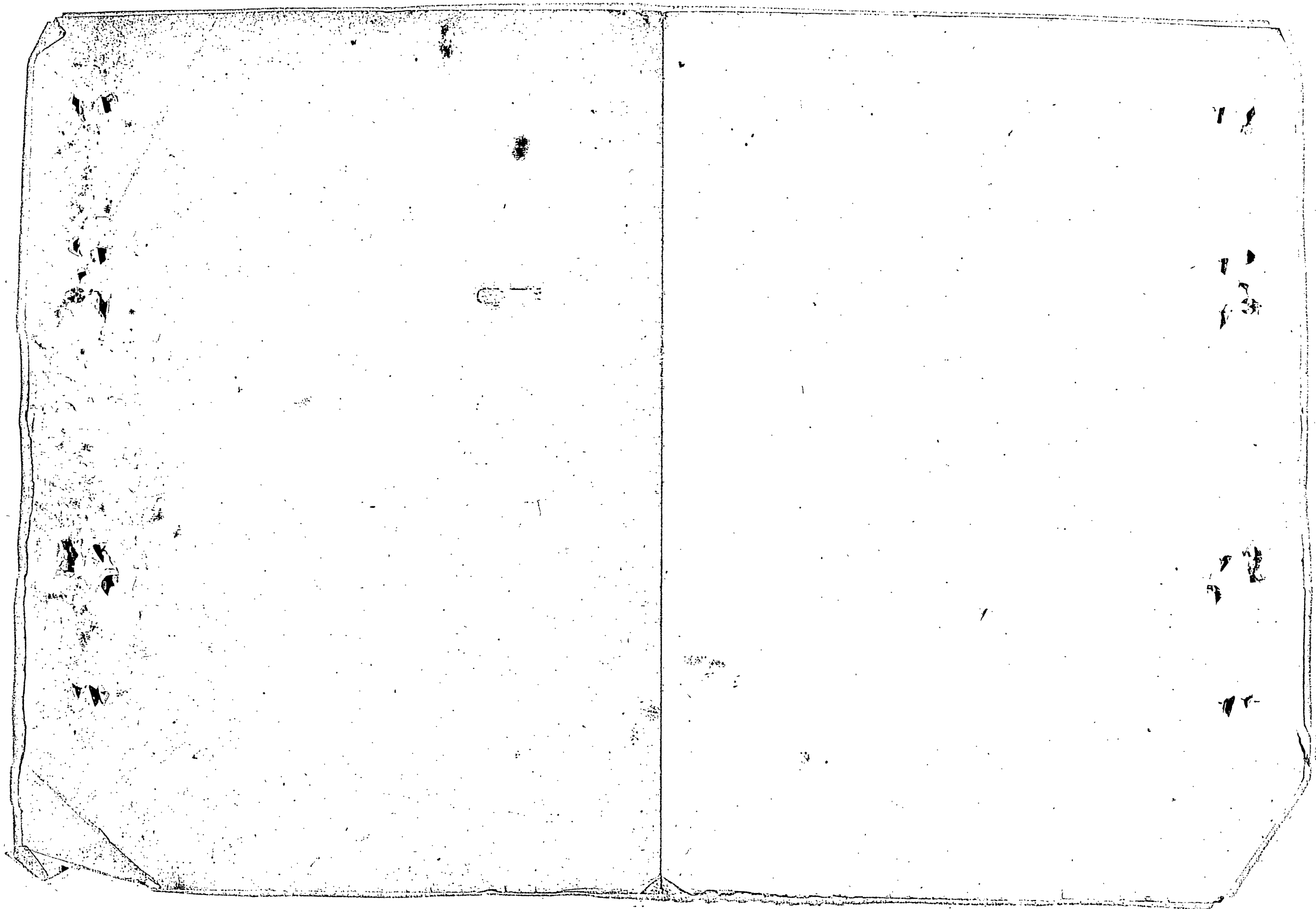
大都會總人數	中國全教 外人全教
大都會人口數	中國人口 外人人口
監負教	
友勸団体教	
友帝監負教	
警系隊	隊長 隊員 人負教
陸軍隊	
保衛隊	
警務教	日本 日中 公初立別
先鋒隊教	學生教 女
青年部教	教職員教 維持方針
婦女部教	

児童學生
男女
新象傾向

本支部、責任同志等、此統計採式、按定年即、調査、九月三十日以内、報告、事

I-0773

0209



I-0773

02:10

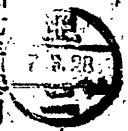
亞細亞局

機密第二四三號

昭和七年三月十八日

昭和七年三月廿五日接

三三三三



記

在湖島

總領事 岡田兼



外務大臣芳澤謙吉殿

中國共產黨ノ共產主義宣傳文撒布ニ
關スル件

I 4.4.2.1-1-6-1

中國共產黨ニ於テハ三月一日ノ三一獨立記念日ヲ期シ不穩
行動ヲ企畫シ居レル情報アリタルヲ以テ警戒ニ努メタル結
果一般ニ平穩ニ經過シタルカ記念日當日前ニ一部村落ニ
左記譯文ノ如キ共產主義宣傳文ヲ撒布シタルモノアリ

右報告ス

記

標題

- 一、寶聲嚮子事件ヲ民衆ニ告グルノ書
- 二、日本帝國主義ノ滿洲占領ヲ中國工農紅軍將卒ニ告グルノ書
- 三、延吉全縣中韓反帝代表大會宣言
- 四、中國共產黨東滿特委ノ兵士ニ告グルノ書
- 五、中華「ソヴイェト」共和國臨時政府對外宣言(和文)
(以上彈春報告)
- 六、第十三週三一記念迎ヘテ工農一切被壓迫群衆ニ撒ス
(以上百草溝報告)
- 七、三一韓國民族獨立運動第十三週年記念ノ為東滿中國勞苦
群衆ニ告グルノ書

I-0773

02:11

八、日本帝國主義ノ韓民逮捕ニ反對セヨ
九、日本帝國主義ノ吉會鐵道修築ニ反對セヨ
一〇、口蹄

(以上曉呀河報告)

一一、全東滿韓國勞力青年學生ニ

(以上甕聲磗子分署報告)

一二、朝鮮三一十三週記念ニ際シ全滿朝鮮勞苦群衆ニ告ク

一三、日本帝國主義走狗集團ノ民生團反對ヲ為ス夕ノ在滿朝鮮人勞力大衆ニ檄ス

(以上大拉子分署報告)

本文

一、中國共產黨東滿特別委員會

甕聲磗子事件ヲ民衆ニ告クルノ書

工農兵學生一切ノ勞働群衆諸君

日本帝國主義ハ滿洲ヲ完全ニ占領シ延邊ヲ直接統治セントモ
リ今回彼等ハ滿鐵ヲシテ東三省吉會鐵道ヲ強制敷設セント
シ甕聲磗子ニ於テ公然中國兵士ニ銃火ヲ開キ警察署ヲ設
置シ各地ニ軍警ヲ増加シ延邊民衆ノ屠殺ヲ大々的ニ實行セン
トセリ中國ノ延邊軍閥官憲ハ既ニ日本帝國主義ニ投降セ
リ彼等ハ兵士諸君ヲ壓迫シテ日本帝國主義ト交戦ヲ許サス
各等ハ日本帝國主義ニ反對スルト同時ニ帝國主義ニ投降
セル延邊軍閥及獨立政府溥洽袁金凱張景惠及國民黨蔣
介石張學良汪精衛等ニ反對ス
勞働群衆諸君禍難ハ既ニ頭上ニ迫ル吾等農工兵ハ聯合シテ起
テ奮闘セヨ日本帝國主義ハ中日韓三國勞働群衆ノ敵人ナ
リ吾等ハ日本帝國主義ノ走狗タル朝鮮民族主義者(韓族
聯合會自治促進會)ト中國官憲及一切ノ地主資産階級ト手

ヲ切り聯合行動シテ反對スルヲ要ス日本帝國主義ノ使喚セル
所謂滿洲獨立運動ニ反對セヨ
兵士諸君ハ糧食銃器ヲ奪ヒ自己ノ長官ヲ銃殺シ兵變ヲ起シ中
韓民衆ハ聯合シテ起テ農民ニ武装シテ起テ日本帝國主義
ノ金融部東拓會社救濟會及一切ノ中日韓地主階級ノ土地
財産ヲ沒收シ平均ニ分配セヨ潜行戦争ヲ實行シ延邊工農兵代
表會議ヲ組織シソヴイェト政府ヲ擁護セヨ如斯セサレハ日本
帝國主義ヲ驅逐シ帝國主義ト中國軍閥地主資産階級ノ統
治下ヨリ解放セラレ得サルヘシ
民衆諸君 租稅債務ニ反抗シ糧食ヲ分配シ罷工罷課罷市
講演遊行示威ヲ行ヒ中日軍警ノ武装ヲ奪取自ラ武装セヨ
中韓勞苦群衆諸君勇敢ニ團結シテ起テ
1、罷工罷課罷市遊行示威ヲ行ヘ

- 2、税金債務ニ反抗セヨ
- 3、中韓兵民ハ聯合シテ起テ潜行戦争ヲ實行日本帝國主義
ヲ驅逐セヨ
- 4、金融部救濟會及一切ノ中韓地主階級ノ土地ヲ沒收シ平
均ニ兵民ニ分配セヨ
- 5、工農兵代表會議ヲ組織シソヴイェト政府ヲ建設セヨ
- 6、日本軍閥ニ投降セル延邊軍閥ヲ打倒セヨ
- 7、日本帝國主義ノ走狗タル韓國民族主義者及中韓民
族ノ分裂者ニ反對ス
- 8、日本帝國主義ノ使喚ニ依ル滿洲韓人獨立運動ニ反對
ス
- 9、中國軍閥ノ日本帝國主義援助韓民壓迫ニ反對ス
- 10、韓民族ハ完全ニ自決シ獨立ソヴイェト國家ヲ組織セヨ

I-0773

02:3

- 11. 帝國主義者ニ投降セル國民黨ト滿洲獨立政府ニ反對ス
- 12. 打倒日本帝國主義
- 13. 中國分割ノ國際聯盟ヲ打倒セヨ
- 14. 一切ノ帝國主義ヲ打倒セヨ
- 15. 中日韓農工兵群衆聯合萬歲
- 16. 中華ソヴイェト政府ヲ擁護ス
- 17. 工農兵ノ祖國タルソヴイェト露國ヲ擁護ス

中國共產黨東滿特別委員會

一九三一

二、日本帝國主義ノ滿洲占領ヲ中國工農紅軍將卒ニ告グルノ書

全中國ノ將卒各位

國民黨ノ軍閥ハ常ニ諸君ニ云フテハナイカ諸士ノ責任ハ護

國安民レテアルト但シ諸君見給ヘ現在日本帝國主義軍下隊ハ既ニ滿洲重要都市一切ヲ占據シ小銃大砲爆彈等ヲ用ヒ滿洲在住ノ勞苦工農群衆ト兵士ヲ屠殺シ夕彼等滿洲ヲ既ニ完全ナル自己ノ殖民地ト看做シテ居ル諸君國民黨ノ軍閥等ニ訊セ如何ニシテ彼等ハ護國安民ノ責任ヲ果スカ彼等ハ諸君ニ何ト答ヘルテアロウカ
 如斯日本帝國主義ノ暴行ニ對シテ國民黨軍閥等ハ諸君ニ抵抗スルナ彼等カ暴行スルトニ諸君ハ忍耐セヨ諸君ハ首ヲ伸シテ日本帝國主義強盜ノ屠殺ニ委セヨ諸君ハ靜カニシテ日本帝國主義ノ亡國奴トナレ諸君ハ之レニ依テ看ルニ國民黨軍閥ハ帝國主義ニ媚ラ呈シ甘シテ帝國主義ノ工具トナルノミニシテ國ヲ護リ民ヲ安シ能ハサルモノテアル但シ國民黨ノ軍閥等ハ彼等自身ノ地盤ノ擴大ノ為ニハ中

I-0773

02:14

國民衆ノ搾取ト屠殺ノ範圍ヲ擴大シ彼等ハ年々歲々軍閥
戦争ヲ行フ此ノ軍閥戦争ニハ彼等ハ諸君ヲ勇敢ニ驅使シ
諸君ヲ残殺シ民衆ノ生命財産ヲ破壊シ彼等ハ苛捐雜稅
ヲ強徴シ人馬ヲ徵發ヲナシ勞苦民衆ノ最後ノ一滴ノ血マテ
吸ハントスル彼等ハ革命ノ工農ヲ屠殺シ全中國空前ノ災
害ヲ作り實ニ民衆ノ屠殺ト搾取トニ就テハ最大ノ勇氣ヲ
發揮シテ居ル

我等ノソヴイェト區域ノ工農群衆ハ自ラ起テ一切ノ帝國
主義ヲ驅逐シ國民黨ノ統治ヲ打倒シ地主階級一切ノ土地
ヲ沒收シ八時間労働ヲ實行シ而シテ工農自身ノ武裝ヲ
ナシ工農紅軍ヲ組織シ工農兵ノソヴイェト政府ヲ建設セ
リ國民黨一切ノ軍閥ハ死カテ盡シテ抗爭シ彼等ノ決心ト勇
氣ヲ表示シ一回二回三回ト帝國主義者ノ援助ヲ藉リ我等ニ

向テ進撃シテ來夕飛行機爆彈毒瓦斯機關銃等ヲ以テソ
ヴイェト區ノ民衆ヲ屠殺セントシタ然リト雖彼等ノ進撃
ハ常ニ吾等ノ勇敢ナル紅軍ノ撃破スル處ナリタルカ併シ余
ヲ未ダ彼等ヲ根本的ニ消滅セシメタルニアラス彼等ハ隙
ヲ窺ツテソヴイェト紅軍ヲ攻撃シ民衆ヲ屠殺セントシテ
居ル此ノ方面ニ就テハ彼等ハ頗ル勇敢ナル

將卒各位諸君ハ之等軍閥ノ欺騙ト壓迫ヲ既ニ滿喫シタテ
アロウ諸君熟慮セヨ諸君ハ軍閥ノ奴隸テアル例ハ諸君
ハ人ニ飼ハル、家禽テアル諸君ハ一錢ノ俸給ヲ受ケス飲食
衣服ニ充分ニ支給セラレヌ諸君ノ長官ハ諸君ヲ牛馬トナシ
砲火トナシ而シテ諸君ノ生命ヲ奪ヒ自己ノ兄弟等ヲ殘殺シ
ツ、アル將兵各位諸君ハ如何ニシテ又自己ノ活路ヲ見出す
カレ可カラス諸君ノ活路ハアル即チ諸君ノ活路ハ革命ヲ

ルノミ現在諸君ノ手ニアル國民黨偽政府ヲ打倒シ地主階級ノ土地ヲ沒收シ貧苦農民ニ分配セヨ資産家ノ糧食住宅ヲ沒收シ公平ニ貧窮者ニ配給居住セシメ工人ヲシテハ時間労働ヲ實施セシメヨ諸君ハ大衆ト協力シテ立テ自己ノコトハ自ラ管理セヨ如斯ニシテ諸君ハ工農兵ノソワイエト政府ヲ建設シ得ヘシ諸君ハ即チ工農ノ武裝トナリ工農紅軍トナレ諸君ノ側ニハ既ニソワイエト政府ト紅軍アリ彼諸君ノ長官ヲ殺害後諸君ハ紅軍ニ投降加入セヨ諸君ノ保護シ工農兵ノ利益ヲ擁護スルハソワイエト政府ト紅軍アルノミ斯クシテ打倒國民黨打倒帝國主義ノ目的ヲ達成スルシ

將卒各位團結シテ起テヨ諸君ノ銃口ヲ逆轉シテ勞苦群衆ヲ搾取壓迫スル帝國主義ト國民黨ニ向ケ工農兵自身ノソワイエト政府ト紅軍ノ為ニ戰ヘ我等數十萬紅軍將卒等ハ將ニ諸君カ我等ノ隊伍ニ加入センコトヲ歡迎シテ居ル

打倒帝國主義 國民黨 建設工農兵ノソワイエト政府中
國工農紅軍萬歲 中國ソワイエト革命勝萬歲

一九三一年九月二十五日

中國農工紅軍第一方面軍總司令兼第一軍團長 朱 德

總政治部主任 毛澤東

中國工農紅軍第二軍團 軍長 賀 龍

同 第三軍團 軍長 彭德懷

同 第三軍 軍長 黃公略

三、延吉全縣中韓反帝代表大會宣言
工農兵學生及一切ノ勞苦群衆諸君

I-0773

02:16

延吉全縣中韓反帝代表大會ハ既ニ一月一日開會セリ
大會ハ熱烈ニ無限ノ革命ヲ誓フ延吉ノ同志ヲ呼號シ
以テ全東滿中韓勞苦群衆ヲシテ武裝聯合起タシメ日
本帝國主義及中國々民黨政府ト滿洲軍閥地主資産家
滿清皇室蒙古王公延邊軍閥官憲等ノ日本帝國主義
者ニ投降セル者ノ打倒彼等地主資産階級ハ元來帝國
主義ト結托シ共同一致中國工農勞苦群衆ヲ搾取壓迫
セルモノナリ我等ハ打倒日本帝國^{主義}同時ニ中國々民黨
及一切ノ軍閥地主資産階級ノ政府ヲ打倒シ之レニ代フルニ
工農兵ノソウイェト政府ヲ以テスヘキコトヲ聲明ス
韓國勞苦民衆ト中國勞苦民衆ハ同様ニ日本帝國主義及
中國軍閥地主資産階級ノ殘酷ナル壓迫ヲ受テ居リ中國
ト韓國ノ勞苦群衆ノ敵ハ同一ナリ但シ日本帝國主義ハ

現在韓國民族主義者(自治促進會韓族聯合會等)ヲ
利用シ所謂滿洲韓人獨立運動ヲ進行セシメ日本帝國
主義ノ直接指揮下ニ滿清皇室蒙古王公白露韓國民
族主義者等聯合シ「六族合衆共和國」ヲ組織セリ此ノ
目的ハ中韓兩國ノ工農兵勞苦群衆ノ聯合戰線ヲ分裂
セシメントスルニアリ大會ハ中國ト韓國ノ勞苦群衆聯合
起來ヲ呼號シ帝國主義地主資産階級ニ反對ス民族主
義者ノ任務ハ中韓民族分裂ヲ企圖スルニアリ我等ノ主張
ハ只徹底的ニ民族自決ソウイェト政府ノ下ニ獨立の國家
ヲ組織シ在滿韓國民族ヲ解放セントスルニアリ帝國主
義者ハ地主高利貸ヲ利用シ中韓農民ノ生活ヲ窮境ニ
墜レントス大會ハ日本帝國主義ノ金融救濟會及一
切ノ中日韓地主階級ノ土地財產糧食ヲ沒收シ農民

兵士ニ平等ニ分配シ且ツ一切ノ債務ヲ取消スヘシ斯クテ
コソ根本的ニ日本帝國主義ノ在東滿統治ヲ潰滅シ徹底
的ニ中韓兩國勞苦群衆ヲ解放スルコトヲ得ヘシソソグイエ
ト(露)ハ全世界唯一ノ工農國家ニシテ一瀉千里ノ勢ヲ以
テ社會主義ヲ建設シ居レリ南方ノ紅軍ト中華ソグイエ
ト共和臨時政府ハ中國工農兵等自身ノ武装セル政府
ナリ大會ハ一切ノ勞苦群衆起來ヲ呼籲シ帝國主義ト
中國々民黨ニ反對スソグイエト中國ソグイエトハ何
ゾ挑戰進攻スルカ如キコトアラン自發的ニソグイエトハ
南方ソグイエト區ノ工農ハ聯合起來シソグイエト臨時
政府ヲ擁護セヨ紅軍ノ反帝國主義反國民黨ノ革命戰
争延吉全縣反帝國主義代表大會ハ國際聯盟即チ日
英米佛及一切ノ帝國主義者ハ中國ヲ分割シ殖民地ヲ

- 獲得シ以テソグイエト機關ニ進攻セントスルモノナリ彼等
ハ少シニ中國ヲ援助スルニアラズ且ツ彼等ノ中立國調査
團組織ニ反對ス最後ニ大會ハ日本工農勞苦階級ヲ仇視ス
ルモノニアラサルコトヲ聲明ス彼等ハ同様ニ日本帝國主義
ノ壓迫ヲ受ケ我等ト利害ハ一致ス我等モ彼等ト聯合起來シ
共同シテ日本帝國主義ヲ打倒セン
- 一、中韓工農兵聯合起來驅逐日本帝國主義
 - 二、打倒日本帝國主義ニ投降セル延邊中國軍閥官憲
 - 三、打倒日本帝國主義ノ走狗韓國民族主義者
 - 四、打倒日本帝國主義及一切ノ帝國主義
 - 五、日本帝國主義及一切中日韓地主階級ノ土地財產ヲ沒
殺平均ニ分配スヘシ
 - 六、工農兵代表會議蘇聯政府ヲ組織スヘシ

六、中韓勞苦群眾聯合萬歲
ハ、ソヴイェト政府萬歲

一九三二一一

延邊全縣中韓反帝代表大會

四、中國共產黨東滿特委ノ兵士ニ告ケル書

今回窺聲儲子ノ兵士兄弟ハ勇敢ニ日本帝國主義ニ反抗シタ
全延邊ノ中韓群眾ハ無限ノ同情ト興奮ヲ表示シタ夫レハ
日本帝國主義ニ反對スルコトハ中韓兵民一致ノ要求ヲアル
カラテアル但シ日本帝國主義ハ現在更ニ出兵ヲ命シ完
全ニ直接延邊ヲ占領セントス延邊ノ中國軍閥官憲ニ燃
治同様早クモ日本帝國主義ニ投降シタ故ニ兵士兄弟等
更ニ勇敢ニ自ラ聯合シテ立テ投降シタ長官ハ銃殺セヨ糧
食ト銃器彈藥ヲ用意シテ日本ト戦ハウ兄弟等ハ至急工人農

民ト聯合シ武裝工人ト農民ハ潜行的ニ戰爭ヲ舉行シヨウ
君等ハ更ニ韓國農民ト親密ニ聯合シテ立タナケレハナラ
又彼等ハ一樣ニ日本帝國主義ノ壓迫ト搾取ヲ受ケ正ニ殘
酷ナル革命闘争ヲ進行ス中國々民黨軍閥地主ト韓國民
族主義者韓族聯合會自治促進會等ハ即チ日本帝國主
義ノ走狗ヲ韓民ノ革命運動ヲ破壞シ中國ト韓國民眾
ノ聯合戦線ヲ分裂セントスル君等ハ中韓貧農ノ秋收闘争
ヲ幫助セネハナラス以テ日本帝國主義的金融部東拓會社
救濟會及中日韓地主階級ノ土地財産ヲ沒收シ平民カ平
均分配スルニ至ツテカラ中韓工農兵代表會議ヲ組織シソ
カイエト政府ニ屬スコト只是アルノミ君等ノ才能ハ全延邊
ニ至ルコトヲ得テ以テ中國工農兵ノ擁護ニ至リ而シテ日本
帝國主義ニ組ミタハカリノ帝國主義的國民黨軍閥地主

I-0773

02:19

ノ統治ハ投降消滅スル而シテ工農兵ノ徹底的勝利ト解放
ニ到ルコトヲ得ル

勇敢ニ團結シテ立ちテ、兵士兄弟等、本黨ハ全東滿ハ中
韓民衆一致シテ立ちツコトヲ號令スル日本帝國主義ニ決死的
闘争ヲ以テ向ヘ中韓民兵ハ進テ聯合シテ立ち日本帝國主義
ヲ驅逐セヨ！日本帝國主義ヲ打倒セヨ！

日本帝國主義ニ投降セル一切軍閥資産家ヲ銃殺セヨ
一切ノ帝國主義ヲ打倒セヨ

韓族民族主義者ニ反對シ分裂セル中韓民衆ノ聯合ニ向ヘ
工農國家ノワイエト聯合（露）ヲ擁護セヨ

中日韓労働民衆聯合萬歳！

工農兵ノワイエト政府ヲ組織セヨ！

帝國主義ニ投降ノ國民政府ヲ打倒セヨ

中華ソヴイエト中央臨時政府ヲ擁護セヨ

中國共產黨東滿特別委員會

五、中華ソヴイエト共和國臨時政府對外宣言（和文）
萬國ノ勞農大衆及諸國政府

我カ中華ソヴイエト共和國臨時政府ハ一九三一年十一月七
日即チロシア十月革命記念節ニ江西ニ於テ正式ニ成立シ
タ、其レハ果シテ全中國ノ勞農兵隊及凡テノ勤農大衆
ノ政權ナリ、ソシテ帝國主義及中國ノ地主資産階級ノ統治
國民政府ノ變リトシテ且ツ更ニ全中國ノ勞農大衆ヲ續イ
テ喚起シ組織シコノ統治ノ政權ヲ顛覆スルニ努カスルノ
タ、其レハ自分自身カ萬國無産階級ノ母國ソヴイエト
ロシアトノ好イ友達マ同盟タルコトヲ正式ニ宣言シ其ノ目
的ハ萬國無産階級ト聯合シテ國際帝國主義ノ統治ヲ

顛覆スルニアリ、其レハ帝國主義ノ殖民地及半殖民地ニ
對スル何等ノ侵略ニテモ反對シテ徹底的ナ民族自決權
ヲ主張スルノデス、

我ガ中國ソヴイェト共和國臨時政府ハ萬國勞農大衆
ト諸國ノ政府ニ對シテ左ノ如ク宣言シマス、其レハ帝國主
義、中國ノ地主資産階級ノ政府トノ締結シタ凡クノ不平等
條約ヲ取消スコトヲ主張シテ又中國統治階級ガ其ノ
國內運動ヲ壓迫シ又人民ヲ殘殺スル為メニ借リ更ヘタ
凡クノ外債ノ取消ヲ主張スル、其レハ帝國主義ノ凡クノ租
借地ヲ無條件ニ回收シ又帝國主義ハ海陸空軍ヲ中國
カラ撤退スヘキヲ主張シマス、其レハ帝國主義ノ中國ニ於
ケル統治勢力ヲ根本的ニ消滅スル為メニ進ンテ中國内
ニアル諸帝國主義ノ銀行鑛山及交通道具等ヲ沒收スル

コトヲ主張スルノガ、

中國ソヴイェト共和國臨時政府ハ其ノ最後ノ目的ハ中國内ニ
アル諸帝國主義ノ統治ヲ打テ倒スバカリテ又萬國ニ
於ケル帝國主義ノ統治ヲ顛覆スルニアルヲ全世界ノ勞農大
衆ノ前ニ宣告スルノデアリマス、但シ今テハ我ガ中華ソヴ
イェト共和國臨時政府ハ諸帝國資本主義國家ト新ニ完全
的ナル平等條約ヲ訂立スルニハ敢テ反對シナク又本ソヴイ
ェト區域内ニ於テ帝國主義國家ノ人民ハソヴイェト政府
ノ法令ニ違反セサル條件ノ下ニ工業ヲ經營スル自由
ヲ許シマス、但シ中華ソヴイェト臨時政府ハソヴイェト
ノ命令ヲ違反シタ者ニ對シテハ即時ニ犯罪者ノ凡クノ
自由ヲ剝奪シ又凡クノ財産ヲ沒收スルコトナリマス、
中華ソヴイェト共和國臨時政府ハ左ノ如ク確認スル、國際

帝國主義國家ト殖民地半殖民地ノ地主資産階級ノ國家トノ間凡テノ秘密外交ノ目的ハ自國內ノ無産階級ヲ欺瞞シテ殖民地及半殖民地ノ人民ヲ搾取スルニアル、以テ中華ソヴィエト共和國臨時政府ハ秘密外交ニ堅ク反對シテ凡テノ外交ハ完全的ナ公開ヲ主張シマス、其レハ全中國及萬國ノ勞農大衆ノ監督及擁護ノ下ニ國際間ノ凡テノ交渉ヲ進行セントシ過去ノ地主資産階級政府ト帝國主義ノ國家トノ間ニ成立シタ凡テノ密約ヲ無條件的ニ公表スルノデス、中華ソヴィエト共和國臨時政府ハ萬國ノ勞農大衆ヲ喚起シテ中國ノ唯一ナル勞農兵隊革命政府ヲ支援シ又擁護シヨウ且ツ中國勞農兵隊及兄弟姉妹ト握手シテ一緒ニ萬國無産階級ノ敵タル資本主義搾取制度ヲ撲滅シテ、ソヴィエトロシアノ勞農兄弟ノ進ミツ、アル社會主義ノ途ニ進

マンコトヲ特ニ願ヒマス、最終ニ中華ソヴィエト共和國臨時政府ハ左ニ聲明シマス其レハ世界大戦ト國內軍閥戦争ニ絶對ニ反對シテ平和ヲ主張スルカ其レハ帝國主義及國民黨ノ政府ヲ顛覆シナイ中ニ眞正のナ平和ヲ有り得サルコトヲ確認シテ萬國ノ勞農大衆ヲ喚起シ國內革命戦争ヲ以テルニシ、及革命的ナ戦争ヲ消滅シ萬國ノ永遠的ナ和平ヲ獲得スルノカ。

一九三一年二月

中華ソヴィエト共和國中央臨時政府

六、第十三週三一記 迎ヘテ工農一切被壓迫群衆ニ傲ス

闘争的ノ三月一日、戦血ヲ以テ彫刻シタル三月一日也

工場、農村、街頭、學校各群衆總動員シテ定期的ニ資産階級地主ト一戦ヲ交ヘル三月一日ハ再ヒ迫ツタ！ 國民黨政府ハ次第

ニ衰退シ工農兵ノ政權蘇聯中央臨時政府ニ誕生ト同時ニ其地盤ハ漸次擴大シ英雄的赤軍ハ一旗幟ノ下ニ協力シ闘争シ勝利ヲ得テ居ル時ニ滿洲ヲ普遍化スル革命運動ノ招頭ハ猛烈ニ燃焼スル火氣ノ下ニ闘争スヘキ三月一日ハ再來シタリ、衣食ニ窮シ尚加捐雜稅ニ苦痛ヲ受ケ最後ニハ住居追押收セラレ街頭或ハ山野ニ徘徊スル群眾ヨリ、作ツタ穀物ハ帝國主義、國民黨地主、資産階級強盜ニ全部強奪セラレ期待シタ其ノ秋ヲ!! 幼兒ノ食ヲ求メル時、無力ナ老人カ寒氣ニ衣服ヲ要求スル時ノ! 悲哀ナル叫ビヲ吾々ニ常ニ耳ニスルニアラスマヤ? 豈ソレバカリテ無ク帝國主義、國民黨ノ加稅雜稅ハ年々騰貴シテ行ク! 是カ帝國ノ産物デアリ是カ則テ帝國主義、國民黨地主、資産階級ノ罪惡ニアラスマヤ!! 憤慨ノ餘リ切齒扼腕躍血シツ、アル我

カ同志ヨリ、今國民帝國主義ト日本帝國主義ハ蘇聯ノ進出ヲ積極的ニ反對シ、南方ノ蘇聯ノ治下ニ迫進出シテ中國ト争ツテ居ル、特ニ日本帝國主義ハ南京政府ノ保護ト國民帝國主義ノ應援ヲ得テ上海ニ起キタル反日運動ヲ虐殺シ上海共人區域ニ放火シ灰燼トナサシメタリ、最モ其ノ罪惡ナル行動ヲ繼續進行中ニテ兵力ヲ上海ニ集中シツ、アリ、此ハ即チ全世界ノ無産階級ヲ虐殺セントスル第二次大戦ノ開幕デアル、血躍ル群眾等ヨリ、憤起シテ上海事件ヲ應援セヨ自己ヲ解放スル三月一日ノ戦ヒ現場ヘ總動員セヨ、自由ニ制縛セラレ貧窮ト戦フ中韓勞苦群眾ヨリ強盜日本帝國主義ハ滿洲ノ鐵道ヲ強制的ニ占據シ兵力ヲ長春ニ集中シ居リ、滿洲各處ニ於ケル中國革命群眾ヲ逮捕シ拷問シ強禁シ強姦スル等ハ當然ノ事ト思ヒ國民

I-0773

0223

黨地方資産階級ノ援助ノ下ニ武装シ吉會線(吉會鐵道)ヲ
強敷シ天圖輕便鐵道ヲ廣軌ニ改造シ狗群十八民會民生團
自治促進會及救國團等ヲ組織セシメテ中韓勞苦群衆ノ聯
合戦線ヲ破壞セシメテ居ル探取ト壓迫ノ下ニ呻吟シテ居
ル群衆ヨリ帝國主義國民黨統治ノ壓迫下ニ吾人ハ
凍死シ或ハ打殺セラレル外ニ道ハナイ！犧牲ハ更ニ倍舊
スルモノト思ハル吾人ハ是ヲ單ニ目過スヘキヤ？
否々我々ノ生存スヘキ道ハ只闘争有ルノミナリ工場農村
學校罷工罷市ヲ断行シ勇敢ニ起ツヘキナリ！
革命ハ群衆ヲ知ラズ待ツハ罪惡ノミナリ。本年々三月
一日ノ記念ニハ地主資産階級ノ倉庫ヲ破壞セヨ。
工農兵ハ連絡ヲ執リ秩序アル示威ヲ以テ此ノ日ヲ迎ヘヨ！
斯クテ初メテ吾々ハ探取壓迫ノ鐵網ヲ除外シ得ルノチアル！

口號

- 一、中韓勞苦群衆ハ韓國民族ヲ開放シテ三一ヲ記念セヨ！
- 一、東滿中韓勞苦群衆ハ華韓革命ヲ援助セヨ！
- 一、一切走狗團體ヲ撲滅セヨ！
- 一、一切愛國主義ヲ打倒セヨ！
- 一、中韓勞苦群衆ハ團結シテ起テ強盜日本帝國主義ヲ打倒セヨ！
- 一、韓國民族解放萬歲！
- 一、中韓民族聯合萬歲！

一九三二年三月一日

中國共產黨汪清縣委

七、三一韓國民族獨立運動第十三週年記念、為東滿中國勞苦群衆ニ告グル書 (譯文)

全東滿ノ中國勞苦群衆等ヨ

三月一日ハ元韓國國民衆ガ日本帝國主義ニ反對シタル民族革命運動記念日ナル此運動ハ曾ツテ全韓國千百萬ノ勞苦群衆ガ動員ヲナシ日本帝國主義ノ韓國ヲ統治スル基礎ヲ動搖セシメタリ三一運動ハ日本帝國主義ノ殺戮及韓國ノ地主資産階級ノ投降ニ依リ失敗シタリト雖モ但シ全世界唯一ナル工農國家ソヴイエトノ幫助及中國ト日本ノ工農革命運動ノ影響ニ依リ十餘年以來韓國工農群衆繼續的ニ断ヘス日本帝國主義ノ闘争ヲ進行シツ、アル在東滿韓國國民衆ハ一步ツ、進シテ中國共產黨ノ領導ヲ受ケ中國民族ト聯合戦線ヲ結成シ工農兵ソヴイエト政權ヲ建立シテ闘争セヨ

三一運動ノ十三年後ナル今年ニ日本帝國鐵路線ハ滿洲ノ領土

ニ踏ミ入り滿洲ノ中韓勞苦群衆ヲ屠殺シ吉會鐵道ヲ修築シ滿洲ニ於ケル中國民族ノ地位ハ全ク韓國民族ト同一トナリタリ

中國及韓國ノ勞苦群衆ハ須ラク韓國民族ト聯合シテ起テ日本帝國主義ニ反對スヘシ中國民族ハ必ス韓國民族運動ヲ援助シテソソ自己ノ解放ヲナスコトヲ得ヘシ全東滿中國民衆等ヨ韓國兄弟ノ流血三一運動ヲ記念セヨ

中國共產黨及中華ソヴイエト共和國第一次宣言及工農兵大會ノ政綱中國内ノ少數民衆ノ徹底的自決權完全ニ分離シテ組織獨立シタルソヴイエト國家ヲ擁護セヨ、只ク中國地主資産階級ノ國民黨南京政府及滿洲政府ガ日本帝國主義ニ投降シ韓國勞苦民衆ヲ壓迫屠殺逮捕シテキル韓國ノ地主資産階級の民族主義者民生團朝鮮獨立黨等

ハ日本帝國主義ノ指揮下ニ在リテ韓人獨立運動六族共和運動天圖鐵道廣軌運動朝鮮民族運動ヲ進行シ積極的ニ日本及中國軍警ノ韓民族逮捕及韓民族ノ投降ヲ幫助シ居トリ如斯ハ全ク中韓民族ノ聯合戦線ヲ分裂シ中韓民族ノ革命運動ヲ破壊シ日本帝國主義ノ奴隸制度ヲ擁護スルニアリ韓國兄弟ト親密ニ團結シテ起テヨ全滿ノ勞苦群衆ヨ三一韓國民族解放運動ヲ記念セヨ、韓國工農民衆革命ヲ援助セヨ、韓民逮捕ニ反對セヨ、吉會路修築ニ反對セヨ、日本帝國主義ヲ打倒セヨ、中韓民族ハ武裝的ニ起テ日本帝國主義ヲ驅逐セヨ、一切ノ帝國主義ヲ打倒セヨ、中華ソヴイェト中央政府ヲ擁護セヨ、ソヴイェト聯邦ヲ擁護セヨ、中韓民族解放萬歲

中國共產黨東滿特委、三月一日

八、日本帝國主義ノ韓民逮捕ニ反對セヨ
全東滿ノ中韓勞苦群衆等ヨ

最近日本帝國ハ到ル處ニ於テ韓民部落ヲ包圍シ半々月内ニ和龍延吉西縣ニ於テ韓國農民及ヒ其他革命民衆數百名ヲ逮捕引致サレ種々ノ刑以外ノ拷問ヲ受ケル日本帝國主義及中國軍閥官憲一切ノ甲日韓地主高利貸者ノ壓迫ト採取ノ為ノ這等韓國民ハ既ニ毎日ノ飢寒ニ堪スシテ逃亡シタリ此ノ飢寒逃亡シタル韓國農民ノ生活相手タル日本帝國主義者ハ如何ニシテ斯ク恨ムヘキヤ、彼等ハ日本帝國主義ニ對シ徹底的ニ堅固ニ反對シ日本帝國ノ滿蒙占領ニ反對シ彼等ハ一切ノ帝國主義中國々民黨軍閥地主高利貸資本家ト頑強ニ闘争シ一切ノ壓迫ト採取ニ反對シ中國勞苦群衆ト一致的ニ徹底的解放ヲ要求シタ

ル為メナリ

日本帝國主義ヲ直接幫助シ韓國農民ヲ逮捕シタル韓國民族主義者民生團獨立黨走狗團體ハ帝國主義ノ直接指導下ニ在リ武斷的ニ延邊韓人獨立ヲ宣傳シ韓國勞苦民衆ノ真正ナル民族解放闘争ニ反對ス此ノ闘争ハ中國共產黨カ少數民族ニ對シテ徹底的ニ民族自決ノ口號ヲ支持スル中韓兩國勞苦群衆反帝國主義ノ聯合戦線ヲ分裂セシトスルニ在ル

韓民逮捕事件ニ對シ中國軍閥官憲及地主高利貸者モ亦日本帝國主義ノ有力ナル贊助者ナリ彼等モ自ラ同レテ韓民ヲ逮捕屠殺シ飢寒逃亡シタル韓民ニ對シテハ之カ除去不盡ヲ恐レテ帝國主義者ノ歡心ヲ買ヒツ、アル

全東滿中韓勞苦群衆等曰 一致團結シテ起テ來リ帝

國主義ノ逮捕及屠殺ニ抵抗セヨ 君等ヨ皆ナ到ル處ニ於テ大會ヲ開キ示威ヲ為シ監獄ヲ包圍シ君等ノ貧苦ナル兄弟姉妹ヲ奪回セヨ 君等ハ君等ノ戦線ヲ擴大シ富農ノ食糧ヲ分食シ債務納税ニ抵抗セヨ 君等カ武裝的ニ起テ來リ帝國主義及地主ヲ掠奪シ武裝的ニ遊撃戦争ヲ舉行シ地主ノ土地ヲ沒收シ平均ニ分配シ工農兵ノ自己ノ政府及軍隊ヲ建立セヨ

中國勞苦群衆等曰 君等ハ當然起テ來リ韓國兄弟等ヲ援助シ彼等ト共ニ一條ノ百打不破ノ聯合戦線ヲ結成セヨ

中國兵士兄弟等曰 君等ハ君等長官ノ命令ヲ拒ミ韓國兄弟ノ逮捕ニ反對シ銃口ヲ轉換シ韓國兄弟ト一諸ニ起テ日本帝國主義ニ反對セヨ 中國及韓國勞苦群衆

I-0773

0227

カ聯合シテコソ勞苦群衆ノ堅決勇敢ナル闘争アリ日本
帝國主義ヲ強迫シ被逮捕ヲ釋放スルニ足ルヘク日本帝國
主義ヲ驅逐シ日本帝國主義ニ投降シタル中國軍閥地
主資産階級ヲ翻覆スルニ足リ最後ノ勝利ヲ得ル可シ

口辨

日本帝國主義ノ韓國民衆ノ逮捕ニ反對セヨ
吾等ノ被逮捕者ヲ奪還セヨ

中韓民衆ハ武裝的ニ起テ來リ日本帝國主義ヲ驅逐セヨ
帝國主義ニ投降シタル中國軍閥地主資産階級ヲ打倒セ
ヨ

日本帝國主義ノ走狗タル韓國民族者ヲ消滅セヨ
中韓民族聯合萬歲

九、日本帝國主義ノ吉會鐵道修築ニ反對セヨ

中韓勞苦的民衆等ヨ

日本帝國主義ハ已ニ吉會鐵道工事ニ着手シタリ本鐵道
線ト南滿鐵道線ハ同一ニ緊要ナルモノナリ滿蒙ニ於ケル數
千萬工農兵勞苦民衆ノ身体ヲ束縛スルト同時ニ吉會
鐵道ハ延吉ヨリ喚呀河ヲ經テ雄基ニ延長シ斯クシテ容
易ニ全世界唯一的ノ工農國家タルソグワイエトヲ進攻セント
スルノテアル

日本帝國主義ハ鐵道修築ノ一切工事ハ皆ナ中國軍閥地主資
産階級ノ直接擁護ヲ受クル兵隊、修道隊ヲ派シ人民所有ノ
地ヲ強買シ人夫ヲ募集シ中國軍閥地主資産階級ハ日本帝
國主義ニ投降セントスル計畫ハ實現出來ナイモノハナイ君
等ハ勇敢ニ起テ來リ日本帝國主義鐵道工事ノ一切ヲ反
對シ日本帝國主義ノ鐵道修築ヲ幫助スル中國軍閥地主

資産階級ニ反對セヨ

兵士兄弟等ヨ 君等ハ鐵道修築ノ護衛勤務ヲ拒絶セヨ

労働者等ヨ 君等ハ募集ニ應シテ仕事ヲ為スヘカラス

農民等ヨ 君等ハ起テ上リ人民所有地買収ニ反對セヨ

中韓勞苦群集等ヨ 大會ヲ開キテ鐵道修築工事破壞

ノ示威ヲナスヘシ武裝的ニ起テ日本帝國主義ノ測量隊、修

道隊ヲ驅逐セヨ一刻ニ遲延スヘカラス

勇敢的ニ勞苦群集ノ自己ノ利益ヲ擁護セヨ

一九三二年二月二十日 中國共產黨汪清縣委

一〇、口號

一、中韓群集ハ武裝シテ起テ日本帝國主義ヲ驅逐セヨ

一、帝國主義ニ投降シタル中國軍閥地主資産階級ヲ打倒

セヨ

一、日本帝國主義ノ走狗タル韓國民族主義者ヲ消滅セヨ

一、地主資産階級的ノ國民黨及滿洲新政府ヲ打倒セヨ

一、三一韓國民族解放運動ヲ記念セヨ

一、中華ソビエト中央政府ヲ擁護セヨ

一、中華ソビエト政府「少數民族自決」政綱ヲ擁護セヨ

一、ソビエト聯邦ヲ擁護セヨ

一、中韓民族解放萬歲

一九三二年三月一日

汪清縣中韓反日會

一、全東滿韓國勞力青年學生ニ

檄!!! 韓國民族カ日本帝國主義ノ心臓ニ刀ヲ刺シテ自己解放

ヲ得ヨウトシタ所ノ流血シタ三一ヲ迎ヘテ

韓國勞力青年勇士ヨ、韓國民族カ日本帝國主義ノ鐵索ヲ切リ

奴等ノ心臓ニ刀ヲ刺シテ自己解放ノ途ニ跳出シヨウトシテ始

ノ聲ヲ高ク響カシク、三一ハ又諸君ノ念頭ニ浮ラテアロウ
革命的韓國青年ヨ！諸君カ流血シテウ戰闘シタ此ノ日
ハ今又諸君等ニ對シ切齒ノ激奮ヲ高ルルノ夕、今世界カ
大衆ノ革命的戰闘ハ最後ノ決戦ニ直面シタノ夕、帝國主
義奴等ハ上海テ中國工人ヲ大屠殺シテウ滿洲ヲ武力テ
占領シ中國及韓國ノ勞力大衆ヲ大屠殺シテウ吉會線ヲ
強制敷設シ中韓革命破壞ニ死カラ盡スノ夕而シテソヴ
イエト聯邦ノ五ヶ年計畫ノ完成ト中國ソヴイエト區域橫
大ト紅軍ノ勝利ハ日ニ増シ實現シツ、アリ北方各地ノ反
日戰爭ノ開始ト朝鮮ノ勞力大衆ノ三一以來ノ全國的反日
闘争トシテ小作爭議同盟罷業破壞走狗打殺猛烈ニ燃
エ上カル其火ノ炎ハ日帝ヲ一遍ニ燃マシ其波ハ天地ヲ動カ
ス様ナ勢ハ何ヨリ又嚴正ナル歷史的企期タ、東滿韓國勞力

青年^{諸君ハ此ノ三ニシテ如何ニテ進ムカ韓國勞力青年}友ヨ！血テ染メク此ノ三一ヲ中國共產青年ト共ニ統一
戰線ニ出テ以テ韓國民族革命ヲ完成スヘキソノ「スローガン」
ヲ高ク讀ミ叫ビテ韓國民族解放ノ夕ノニ中國革命完
成ノ夕ノニ最後ノ決戦ヲ告ケヨウ、三一ニ血ヲ流シタル者ヨ！
三一民族解放ノ任務ヲ完成スヘキ韓國勞力青年友ヨ！諸
君ト中國革命ハ一刻ニ相離レテハナラヌト同時ニ中韓勞
力群眾聯合戰線タケテ以テ最後ノ勝利カ來ル可キヲヨク
知ラナケレハナラヌノ夕戰闘的韓國勞力青年友ヨ！諸君
ハ朝鮮ニ居ル時カラ既ニ食フ物、着ル物ヲ奴等ニ奪取セラレ
テカラハ鐵窓ノ生活ヲ營ムハカリテナイカ、一口ノ言ト一足ノ足
ニ付イテ堪エラレヌ壓迫ト搾取ニ疲レタ末、溜息ト涙テ以テ滿
洲ノ荒蕪地ニ逐ハレテ來タノデハナイカ、尚奴等ハ直ク我等
ノ後ニツイテ滿洲ニ迫來テ諸君ヲ搾取、壓迫、屠殺、驅逐スル

I-0773

0230

ノデナイカ、二人カ三人集マツテ又直ニ無條件ヲ逮捕スル、其ノ惨忍ナル魔手ハ中國勞力青年ニ迫及フ様ニナツタノタ、奴等ハ滿洲ヲ強制的ニ占領シ暗殺的怪手段ヲ以テ中韓勞力群衆ヲ屠殺スルノタ、宣奴等計リカ、三、叛逆者ヲアル韓國地主、資産階級ハ日常奴等ニ哀願シテ其先驅ノ走狗ニナツテ韓國勞力青年逮捕屠殺ノタメ第一線ニ立ツテ救濟團救國團獨立團民生團等走狗ノ巢窟ヲ建設シテ韓國勞力群衆ヲ阿片魔酔セシメテラ韓國勞力青年ノ唯一ノ文化機關ヲアル私立學校ハ奴等ノ教育政策ニ背クトテ民生團ノ奴等カ管理ノ下ニ歸セシメタリ韓國勞力青年等ヨリ、諸君ノ行ク處ハ何處カ！行ク處ハ唯革命ノ途ノ外ハナイハ、中韓勞力群衆ハ聯合シテ東滿カラ日常ノ勢力ヲ驅逐スルタメニ最後迄血ヲ流シテ戦フヲ見ヨ！起キヨト云フ

中國共產青年團ノ呼フ聲ニ應シテ赤イ旗ノ下ニ集マツテ來イ！

次ノ口號ヲ讀叫ヒテラ

口號

- 一革命的韓國勞力青年ハ罷工破壊被京示威遊撃戦ヲ血ノ三一ヲ迎ヘヨウ！
- 一日本帝ハ韓國勞力青年逮捕屠殺ニ反對シヨウ！
- 一三一叛逆者アル韓國民族主義者民生團獨立團ヲ撲滅シヨウ！
- 一中韓勞力青年ハ統一戦線ヲ作ラウ！
- 一中國地主、資産階級ハ國民黨ト中國ヲ瓜分シヨウトスル帝國主義ヲ打倒シヨウ
- 一滿洲新政府ヲ反對シヨウ！

I-0773

023

一、朝鮮革命萬歲！
一、中國革命萬歲！

一九三二年二月二十八日

中國共產青年團東滿特別委員會

一、朝鮮三一三週紀念之際、全滿朝鮮勞苦群眾ニ告ク

大拉子區三一紀念闘争委員會

一九三二、二、二七

勝利萬歲萬々歲、同志諸君立テ立テ奮闘々々、朝鮮民族自由
平等權ノ獲得ヲ争ヘ

ソヴイエト政府ノ如ク、徹底的ニ全滿洲朝鮮民族ヲ開放シ、
地主資本家土豪劣紳ヲ消滅シ、工農ヲ指揮シ、朝鮮獨立運
動ヲナシ、自治ヲ建立シ、一切ノ軍閥ヲ廢シ、滿洲獨立政府、日本
帝國主義ヲ撲殺シ、ソヴイエト革命運動ヲナセ、急速ニ日本

帝國主義ヲ驅逐シ、國民的武裝暴動ヲ興シ、直接偉大ナル
中國工農兵式示威運動ヲ進行シ、反日大會ヲ公開召集シ、
遊撃戦争ヲ開始シ、農村學校、兵營等ニ於テ罷工罷課、罷操
ヲナシ、我等ハ此一日ヲ記念トシ、英勇的ニ工廠、鐵路、礦山、埠頭
等ニ運動ヲナシ、更ニ大檢舉、大屠殺ヲ行ヒ、滿洲中韓革命
的武裝ヲ以テ滿洲ヲ占領シ、陰謀ヲ進行シ、ソヴイエト聯合
ヲ以テ中國、ソヴイエト革命ヲナスハ吾人ノ任務ナルヲ自
下強盜的日本帝國主義ハ凍餓、恐怖、屠殺、拷問、投獄、
外何物モ無キ此政治的壓迫タル屠殺、驅逐、掠奪、欺騙、
地主資本家、土豪劣紳ノ非常ニ殘酷ナル經濟的成功
ヲアルニハ強盜的日本帝國主義ト國民黨ノ走狗ナル
同志諸君過去十三年ニ何ヲ得タルカ
民族解放旗ヲ揚ケヨ、獨立的萬歲ヲ高唱セヨ、殺人強盜

的、日本帝國主義の鐵蹄下ニアル朝鮮壓迫弱少民族の血的三一十三週年記念日、來タレリ同志等來タレリ血的ノ日?

一三、日本帝國主義走狗集團、民生團反對ヲ為スタノ在滿朝鮮人勞力大衆ニ檄ス

悲哀スル在滿朝鮮人勞働者農民學生婦女一切勞力大衆等、強盜日本帝國主義走狗ノ群ハ最後ニ死カケテ居ル命ヲ一時テニ餘計延長スル為メ、武裝團體ヲ滿洲大小都市ヲ占領シ熙洽袁金凱張海奉等ヲ祖崇トシテ滿洲新獨立政府ヲ建立シ無産階級ノ祖國SSSSニ進攻陰謀ト滿洲中韓勞力革命大衆檢舉虐殺ニ目腫ヲ圓クシテ色々ナ手段ヲ為シテ居ル、奴等ハ其レニ尚ホ不足テ壓迫策トシテ自治促進會、韓族聯合會其他走狗ヲ集合セシメ、民生團ト

云フ大キナ狗ノ業ヲ作り一切勞力大衆ノ壓迫策ヲ採リ形ハ種々ニ欺妄ス、見ヨ狗ノ如キ民生團綱領ノ一句ニ「四十萬同胞ノ生存權ヲ確保スル為メ自衛自律自立テ自由樂土ヲ建設セヨ」生活ノ産業活路ヲ有ルカラ民生團ニ同情シテ團結セヨト吠エテ居ル、民生團ハ事實民衆ノ為メカ否々民衆ノ死ノ為メカ極端的ニ至リシ民衆ノ為メニ為サネハナラヌ、聞イテ見ヨ、奴等ハ勞苦群衆ヲ全部死境ニ至ラス為メ組織シタル民生團ヲ四十萬同胞ノ生存權ヲ確保シ得マラカ自衛自律自ラ立テ自由自宅ヲ建設シ得マラカ又資本主義社會ニテ産業確保會トシテ數萬ノ失業群衆ヲ救濟スルト云フハ三尺ノ童子テモ知ル事ヲ實ニ話ニナラヌ事テアル親愛ナル在滿朝鮮人勞働者農民學生婦女一切勞力大衆等ヨ

我等ハ朝鮮ヲ日本帝國主義奴等ノ政策ニ財產全部ヲ取
ラシ赤手空拳テ滿洲ノ荒野ヲ開墾シタルテアル滿洲ニ來
テモ所謂在滿同胞ノ保護ト云フ口實テ朝鮮人民會金融
部救濟會相愛等ノ走狗機關ヲ各所ニ設ケ在滿同胞
貧民ノ血ヲ搾リ取ツテ居ル現ニ新ニ生レタ大走狗團民生
團ハ實ニ我等ノ血肉ヲ殘ラス搾取セントスル政策機關ヲア
ル諸君今テモ日本帝國主義ノ鮮人保護ニ麻酔シテ信ル
カ民生團如實ニ諸君ノ生活ヲ安定シ得ルト信スルカ民生團
ヲ本心テ信スルカ親愛ナル諸君諸君ノ活路ハ唯一無二ノ
偉大ナル群衆「ソヴイェト」革命軍ニ直接加入シテ日本
帝國主義及國民團軍閥地主資本家ヲ根本的ニ滅之也
シノ政權ヲ建立シ諸君ノ多大ナル生活路ヲ得ヘキコトテ
アル諸君中國共產黨ノ「少數民族自決」ハ中國革命

成功ト共ニ在滿同胞鮮人ノ自由平等權ヲ獲得セシムル
筈ナル諸君起テ下記ノ走狗ニ反對シテ大イニ争テ見
ヨ民生團ヲ滅亡セヨ、一切走狗ヲ滅亡セヨ走狗機關ナル
民會金融部救濟會相愛會等ヲ撲滅セヨ、日本帝國主
義ヲ武裝的ニテ驅逐セヨ、滿洲獨立政府ヲ更迭セヨ、地
主貧農ノ倉庫ヲ開キ穀類ヲ分食セヨ、日本帝國主義者
ノ獨立運動ト自治運動ニ反對セヨ、自治促進會韓族聯
合會ヲ撲滅セヨ、帝國主義第二次大戰ニ反對セヨ、
中華臨時中央「ソヴイェト」政權ヲ擁護セヨ、中國革命成
功萬歲朝鮮革命成功萬歲世界革命成功萬歲

一九三二、三、二七

大垣子反帝同盟區委

本信寫送付先

在中公使 北平參事官 奉天 吉林 哈爾濱各總領事

朝鮮總督 咸北知事 向島派遣員
朝鮮軍 第十九師團西參謀長 會寧步兵聯隊長 延吉連絡班
朝鮮憲兵隊司令官 羅南憲兵隊長
關東廳警務局長
管下一般

I-0773

0235

亞細亞局
機密第三四七號

昭和七年四月十二日

在問島

總領事 岡田兼



昭和七年四月拾八日接受

歐米局

外務大臣芳澤謙吉殿

我出動兵士ニ對スル共產主義宣傳文貼付

ニ附スル件

(局子街報告)

四月七日中國共產黨東滿特別委員會ノ名ヲ以テ「日本軍隊様ニ訴ヘテ」ト題スル左記ノ如キ日本文ノ共產主義宣傳文ヲ依蘭溝附近電柱ニ多數貼布シアルヲ局子街分館警察署員之ヲ發見押收シタリ

右報告ス

記

中國共產黨東滿特別委員會

一九三二年四月五日

萬國無産階級解放萬歲!

中日韓勞農兵團結萬歲!

韓民族解放運動ヲ支援セヨ!

日本ノ勞農革命ヲ擁護セヨ!

中國「ソヴェエト」臨時政府ヲ擁護セヨ!

萬國無産階級ノ母國「ソヴェエト」ロシアヲ擁護セヨ!

韓民族主義者ヲ撲滅セヨ!

中國國民黨ヲ打倒セヨ!

日本及國際帝國主義ヲ打倒セヨ!

I-0773

0236

日本帝國主義、滿洲佔領ニ反對セヨ

即時滿洲カラ撤兵ヲ要求セヨ

吉會鐵道敷設ニ反對セヨ

向島へ出兵ヲ反對セヨ

革命戰爭ニ轉シ一緒ニソウガイエト「社會主義」邁進セヨ

藩壁ヲ一蹴シテ我カハ堅ク握手シ帝國主義、侵略戰爭及反

帝國主義タル國民黨乃至韓國民族主義者等ノ中日韓勞農

兵隊ノ團結ヲ分裂セントスル凡テノ企

我親切ナル兵隊様兄弟ヨ！彼ノ帝國主義及其用具ニ愛國主

義者中國ノ凡エレ挑戰ラモ一蹴シテ平和政策ヲ持續シ社會主

義建設ニ邁進スル飛躍的ニ發展シツ、アル萬國無産階級ノ

母國トシテソウガイエト「ソレマ、帝國主義軍隊ノ反帝國運

動ハ帝國主義及中國ノ國民黨、如何ナル彈壓ニ屈セス又中

國「ソウガイエト」運動ハ着々全國へ發展シツ、アリテ中日韓

三國ノ勞農兵ハ一致シテ共同ノ敵タル日本帝國主義ヲ打倒

スベシアル

各階級の利益カ一致シ我々ノ敵カ共同的テアルカラ向島ノ中

韓西國ノ勞農兵隊ハ日本兵隊様兄弟ニ對シテ少シマ恨ミ

ハナイ、乃至萬國ノ勞農兵隊ノ敵テアル貸借制度ニ依リ農民

ノ土地ヲ没收シ又日本帝國主義ハ吾々中日韓勞農兄弟ノ革

命闘争ニ彈壓ヲ加ヘ吉會鐵道ヲ強制的ニ建設セシ中國軍閥

地主資産階級ヲ利用シツ、アリ而シテ向島ニ於テ帝國主義戰

争ノ為メ「ソウガイエト」勞農兄弟ヲ残殺シ中國「ソウガイエト」革

命勞農大衆ヲ欺瞞シ強制的ニ滿洲へ派遣シ中韓勞農兵

隊ヲ檢舉投獄シ又、殘殺シ或ハ國內ニ於テ日本ノ勞農大

衆ヨリ殘酷ナル採取闘争ヲナシ居リ

親王十八兵隊様諸君！

日本人兵隊様へ訴へ

本信寫送付先

在中公使 北平参事官 奉天 吉林 哈爾濱各總領事

朝鮮總督 咸北知事 同島派遣員

朝鮮軍 第十九師團西参謀長 同島派遣隊長池田大佐 同島特務機關

朝鮮憲兵隊司令官 羅南憲兵隊長

關東廳警務局長

管下一般

I-0773

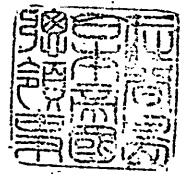
0238

亞細亞局
機密第三六九號

昭和七年四月十九日

在問島

總領事 岡田 兼



外務大臣芳澤謙吉殿

歐米局

柳井 三 五

昭利七年四月廿五日接受

7.4.28

共產黨

中國共產黨、滿洲國及上海事件ニ對スル宣
傳文配布ニ關スル件 (局子街報告)

中國共產黨東滿特別委員會ニ於テハ「滿洲獨立國反對宣言」及
「日本帝國主義ノ上海北部占領ニ對シ中韓勞力群衆ニ告ク」ト
題スル左記譯文ノ如キ宣傳文ヲ下級黨機關宛配布シタ
リト

要再回

右報告ス

記

「滿洲獨立國」反對宣言

中韓農工兵勞力群集ヨリ全支那及滿洲ニ居住スル農工兵勞力群
集ノ決死的闘争ヲ以テ日本帝國主義ノ滿洲占領ニ反對シツ、
アル時恰又日本帝國主義ノ保護國タル「滿洲獨立國」ハ思ヒノ外
積極的ニ成立シテ名實共ニ國家ノ体形ヲ為シ滿洲ニ對スル一切
ノ統治ヲ完成スルニ至レリ日本帝國主義ノ直接指揮スル滿洲獨
立國ハ國民黨軍閥官僚張景惠、臧式毅、熙洽、馬占山等ノ手ニ
依リ御膳立サレタルノテアル。軍閥地主財產階級ノ國民黨ハ
中國工農兵勞力群集ヲ壓迫虐殺スル機關ニシテ以前ハ國民
黨政府委員ナリシカ今ヤ日本帝國主義ノ「保護國」ノ官僚トナ
ル此レ奇怪事ナラサルマ、我等農工兵ハ共同シテ反日ノ喊

I-0773

0239

聲ヲ擧ケタリ蔡廷楷、蔣介石、馮玉祥、汪精衛等ニ國民黨ノ色彩ハ毫モ見受ケラレス皆積極的ニ英米獨佛等ノ帝國主義走狗トナリ、奴等ハ各々自己ノ主人タル帝國主義ノ為ニ相互ニ分裂結合シテ地盤ヲ作り割據スルニ至リ且又廣東政府ト蔣介石トノ合体聯盟、閻錫山、吳佩孚、張學良等ノ河北ニ於ケル新シキ結合等ハ如何ニシテ滿洲獨立政府ト同視シ得ヘキヤ？ 滿洲獨立國政府ハ絶エス宣傳シテ曰ク「我獨立國ハ軍閥ノ統治ヲ離脱シテ、滿洲國民ニ依テ獨立」スルトハ謂フモノ、其實ハ一個ノ張學良軍閥ニ反對シテ執政及高官顯爵ノ好餌ヲ提供シテ宣統帝及一切ノ豪族貴族王公ヲ買収シタルニ過キサルモノニシテ滿蒙民族ノ農民群衆ハ以前ト同様他ノ民族ト等シク壓迫ヲ受クルナリ。滿洲獨立國ハ延邊ヲ分割シテ特別區タラシメテ一部ノ韓國民族主義者、民生團、地主階級ヲ買収シ以テ

日本帝國ヲシテ一層直接ニ東滿ニ於ケル中韓革命運動ヲ剿滅セシメント企圖シ信トリ中韓勞力群衆ハ之ヲ信セサルナリ「延邊特別區」方韓人獨立ナリト稱スルニ眞正ナル韓人獨立ト解放トハ一ニ中韓綜合戦線ニ於テ工農兵自己ノ政權タルソグイェト政府建設ニアリ。日本帝國主義カ滿洲獨立國ニ「ロシア、白黨ヲ混入組織セルニ白黨流民ハ全世界工農兵ノ不俱戴天ノ仇敵ニシテ奴等ハ皆工兵農ヲ欺瞞壓迫シタル」ヨシマレノ貴族地主、財産家ニシテ「蘇聯國」ノ工農兵兄弟ニ驅逐セラレタルモノナリ。現ニ日本帝國指揮ノ下ニ内蒙古呼倫貝爾ヲ占據シテ根據トナシ帝國主義ノ走狗トナリ進シテ全世界ノ工農兵ノ擁護スル「蘇聯國」ヲ進攻セントシ一面遼西ノ北寧線ノ警備ヲ擔任シテ北寧鐵道ノ工人闘争ヲ壓迫シ救民反日義勇軍ヲ進攻セントシツ、アリ。日帝ノ保護國タル「滿洲獨立國」ハ即チ工農兵ヲ虐殺

- ル國民黨、滿清皇室、蒙旗王公、白黨並韓國民族主義者等ヲ以テ構成シタルモノナリ。中國共產黨ハ全東滿又ハ全滿洲ノ工農兵勞力群集ニ呼訴シテ一層團結的闘争ヲナシテ「漢滿蒙韓」四民聯合シテ起チ以テ反帝大同盟ヲ組織シテ滿洲獨立國ニ反對シ一切國民黨政府及滿清皇室、蒙旗王公各民族主義者地主財產階級ノ統治羈絆ヲ脱シテ日帝及韓民族主義者ロシア白黨ヲ驅逐シテ工農兵ノ政權ソツイエト共和國ヲ建設セシム
- (1) 日本帝國主義ノ保護國タル滿洲獨立國ヲ打倒スヘシ
 - (2) 日帝ノ前身トナリテ滿洲國ヲ助成シタル國民黨ヲ打倒スヘシ
 - (3) 一切帝國主義ノ走狗タル國民黨ヲ打倒スヘシ
 - (4) 滿清皇室、蒙旗王公並一切財產階級ヲ打倒スヘシ
 - (5) ロシヤ白黨及韓民族主義者民生團ヲ驅逐スヘシ
 - (6) 漢滿蒙韓各民族ハ聯合シテ起チ以テ日帝ヲ驅逐スヘシ
 - (7) 日本及一切ノ帝國主義ヲ打倒スヘシ
 - (8) 帝國主義ノ蘇聯進攻ニ反對スヘシ
 - (9) 蘇聯國ヲ擁護スヘシ
 - (10) 工農兵代表會議、蘇聯政府ヲ建立スヘシ

三月六日

中國共產黨東滿特別委員會

日本帝國主義ノ上海北部占領ニ對シ中韓勞力群衆ニ告ク
 中韓勞力群衆ヨ！日本帝國主義カ滿洲ヲ占領シ國民黨軍閥官僚及滿清皇室、蒙旗王公等ヲ指導シテ「滿洲獨立國」ト稱スルモノヲ組織シ且又日本帝國主義ハ吳淞、閘北、真茹、南翔、寶山、嘉定、太倉並ニ占領シタル為上海ノ海區並ニ西北部一帯ノ最モ重要ナル區域ハ皆ナ日本帝國主義ノ鐵制ノ下ニ歸シタルナリ。
 上海北部占領ノ際ハ將ニ帝國主義國際聯盟ノ臨時總會開會

I-0773

024

セラレアリタリ。日本帝國主義ノ上海ニ於ケル國際的勝利ハ聯
盟總會及一切帝國主義ヲシテ無上ニ狂喜セシメタリ。奴等ハ此
機會ヲ利用シテ走狗タル國民黨政府ト協議シテ上海ヲ帝國主
義ニ與ヘテ共管セシメ上海其他重要都市ノ租界ヲ擴大シテ
中國ヲ管理シ以テ中國勞力群衆ヲ壓迫シテ今日マテ無カリシ
新シキ苦痛ヲ更ニ負ハシメ且ツ中國ソガイエト革命ヲ討滅セン
トレツ、アリ。所謂「上海圓卓會議」ナルモノハ帝國主義ノ既
定ノ計畫ヲ積極的ニ進行セシメテ居レリ。一切ノ勞苦群衆ヨ！
一月二十八日以來上海ノ工農兵貧民並ニ中日韓三國工勞兵勞力
群衆カ聯合闘争シタル為日本帝國主義ニ一大打擊ヲ與ヘタル
ニ不拘何故日本帝國主義カ今尚上海ノ腹部ヲ占領シ居ルヤ
？、群衆ヨ此ハ元來國民黨政府カ日本及一切ノ帝國主義ト
妥協盟結シテ讓步退却シタルニ基クモノナリ。上海ノ工農兵

勞力群衆ノ鞏固勇敢ナル闘争ハ日本帝國主義ヲシテ失敗ニ歸
セシメタルノミナラス其他全帝國主義者及國民黨統治ニ脅威
ヲ與ヘタリ。國民黨政府蔣介石蔡廷楷等ノ軍閥ハ耻辱ヲ念
トセス退却シテ上海ノ腹部ヲ提供セリ。勞力群衆ヨ中國
共產黨ハ軍閥地主財産階級タル國民黨ヲ打倒セサレハ決シ
テ日本帝國主義ニ反抗ノ勝利ヲ得サルヘシト宣言セリ今
般ノ事變ノ如キハ完全ニ本黨ノ宣言ヲ表明シタルモノナリ。
滿洲ニ於テ我馬占山丁超李杜ハ抗爭セリ又王德林ハ日本
帝國主義ノ走狗タル滿洲國獨立政府ト闘争スヘキヲ協議セ
リ賣國奴タル國民黨並ニ一切軍閥ヲ打倒セン。上海ノ兵民
ハ示威抗爭ト騷動闘争ヲ自動的ニ發展セシメテ彼等ノ戰
線ヨリ更ニ租界ニ侵入シ中國紅軍ト「ソガイエト」區域ヲ漸次
發展セシメ尚滿洲ニ於ケル反日兵士並ニ農民ノ聯合闘争

- ハ將ニ擴大セラシ武装衝突カ展開セラレマルヲ以テ東滿ノ韓人ハ自發的ニ團結シテ起擧セシムルニ自動的ニ日本帝國主義ヲ驅逐シテ農工兵ソヴイェト政府ノ最後ノ勝利ヲ爭取セシム
- (1) 日帝上海占領ニ反對スヘシ
 - (2) 國民黨政府ノ上海出兵ニ反對スヘシ
 - (3) 日英米佛一切帝國主義ノ上海共管ニ反對スヘシ
 - (4) 中國ヲ分管セントスル國際聯盟總會ニ反對スヘシ
 - (5) 帝國主義上海共管ヲ圖ラントスル上海國卓會議ニ反對スヘシ
 - (6) 上海ヲ擁護スヘシ
 - (7) 日本並ニ一切帝國主義ヲ打倒スヘシ
 - (8) 滿洲獨立國ニ反對スヘシ
 - (9) 軍閥地主財產階級ノ國民黨ヲ打倒スヘシ
 - (10) 蔣介石、蔡廷楷、馬占山、丁超、王德林及一切兵民ニシテ妥協讓

步セル國民黨軍閥ヲ打倒スヘシ

- (11) 中日韓兵民ハ自動的ニ聯合シテ日本帝國主義ヲ驅逐スヘシ
- (12) 農工兵代表ノ「ソヴイェト」政府ヲ組織スヘシ
- (13) 中國紅軍ト「ソヴイェト」政府ヲ擁護スヘシ

三月十二日

中國共產黨東滿特別委員會

本信寫送付先

- 在中公使、北平參事官、奉天、吉林、哈爾濱各總領事
- 朝鮮總督、咸北知事、河島派遺員
- 朝鮮軍、第九師團西參謀長、池田河島派遺隊長、河島特務機關
- 朝鮮憲兵隊司令官、羅南憲兵隊長
- 關東廳警務局長
- 管下一般

I-0773

0243

要部
懸案

〇
手
書

文書課長

文書課發送

昭和七年四月廿二日發送済

淨書

正(原稿)

(淨書)

別紙

(甲號用紙)

主 管 亞細亞局長

主 任 亞細亞局第二課長

(起草味和七年四月廿日)

亞二 機密 第一

〇五

號

味和 昭和七年四月廿壹日 附

附屬書

一通

受信 人名

山岡陸軍中將

發信 人名

若之細之長

件名

秋虫勅令士の對せん書程之
義宣傳文貼付の事ニ付

綴 込 名

別紙御參考迄ニ送付ス

(昭和七年四月十二日附)

在島總領事館來

電 機 第三四七 號寫及附屬書

公 信 案

外 務 省

21 87

記

I-0773

0244

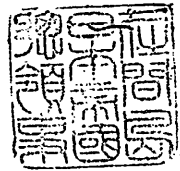
亞細亞局

機密第四五三號

昭和七年五月九日

在問島

總領事 岡田兼



共產黨



五月拾八日接受

歐米局

外務大臣芳澤謙吉殿

信紙

中國共產黨滿洲省委員會移轉及策動狀況ニ
關スル件

本件ニ關シ四月二十二日附亞ニ機密令第三九四號貴信ニ依リ調
査ヲ遂ケタル處左記ノ通ニ付此段報告ス

記

一、滿洲省委員會移轉事情

滿洲省委任會ハ從來奉天省ニ根據ヲ置キタルカ昨年九月滿
洲事件勃發シ奉天ハ我軍ニ占據セラレ黨ノ活動及聯絡上
危險ヲ感スルニ至レルヲ以テ昨年十一月初旬根據ヲ哈爾濱
傳家甸ニ移シタルモノニシテ移轉ノ動機ハ黨活動上ノ必要
ニ因ル自發的ノモノニシテ右移轉ニ關シテハ在上海中共本
部及在「ハルビン」ノ「コミンテルン」東洋宣傳部ノ諒解ヲ得タ
ルモノ、如キニ其ノ指令ヲ受ケタルモノニアラス又滿洲國ノ
成立ニ伴フ一國一黨主義ニ出テタルモノニアラサルカ如シ

二、滿洲省委ト「コミンテルン」並哈爾濱及東支乃至邊境勞農各機
關トノ連絡關係並右機關ノ指導狀況

滿洲省委ハ中國共產黨本部ヲ經テ在莫斯科「コミンテルン」ノ
指令ヲ受ケタル原則トスルモノ露支國境ニ於ケル黨ノ活動事項
ニ限り在「ハルビン」ノ「コミンテルン」東洋宣傳部ト直接聯絡ヲ

I-0773

0245

執り來レル處滿洲事變以來ハ中國共產黨本部ニ對スル中國黨規及中國黨ノ統計的事務ニ關スル指令ヲ除キ滿洲ニ於ケル事業計畫其ノ他赤化運動ニ關スル指令一切ハ直接ハハハロウス、コミンテルン東洋宣傳部ヨリ受ケ其ノ他東支沿線地方ニ於ケル黨ノ活動上ノ必要ニ依リ東支鐵道赤色職工組合ト直接聯絡ヲ執リ滿洲赤化ノ計畫ヲ進メ、アルモノ、如シ

三、其ノ新國家ニ對スル態度

滿洲省委ハ滿洲新國家ハ日本帝國主義滿蒙侵略ノ走狗機關ニシテ且日本帝國主義ノ勞農「ロシヤ」進攻ヲ援助スルモノナリト做シ其ノ打倒ヲ策スルト共ニ北滿各地ニ於ケル叛亂兵其他匪賊ヲ操縱シ反日思想ヲ鼓吹シ漸次赤衛隊ニ編入シ鐵道ノ爆破、官廳ノ襲撃、人民ノ掠奪虐殺等ノ手段ヲ以テ後方攪亂ヲ為シ滿洲國ノ成立ヲ困難ナラシメントスルノ策ニ出ラツ

ツアルカ最近東支沿線ニ於ケル列車爆破事件等ハ「ソガイエト」ロシヤノ勢力圏内タル東支沿線ニ於テ事ヲ起シ「ソガイエト」軍ノ出動ヲ促シ其ノ援助ヲ受ケントスル策ニ出ラタルモノ、如ク目下朝鮮咸鏡北道ニ於テ檢挙取調中ノ新義州鐵橋破壞計畫ノ如キ又露國共產黨ノ直接指導シタルモノニシテ我軍ノ輸送ヲ妨タケ動亂ヲ起シ新國家ノ成立ヲ困難ナラシメントスル策ニ出ラタルモノ、如シ

四、上海中共本部トノ關係

滿洲省委ハ上海中共本部ノ指導ヲ受クルコト、ナリ居レルニテ滿洲事變後ハ其ノ實狀ニ鑑ミ露支國境殊ニ東支沿線各地方ニ於ケル黨ノ諸施設及「テロ」運動ニ關シテハ在「ハハロウ」スク、コミンテルン東洋宣傳部ノ直接指導ヲ受クルコト、ナリ在上海中共本部ヨリハ系統的指令ヲ受クル程度ナリト

五、朝鮮並日本共產黨トノ關係

滿洲省委ハ日本共產黨トハ直接聯絡ナキモ黨員ハ各個ニ大連旅順方田ノ日本共產黨員ト聯絡ヲ保チ又朝鮮ニハ滿洲省委ヨリ特派員ヲ送り朝鮮共產黨一派ト聯絡ヲ執リ支鮮人共產黨員團結シテ日本ノ滿蒙進出ヲ阻止スル目的ヲ以テ朝鮮工作委員會ヲ設ケ反日工作ヲ進メ居ルカ此間「コミンテルン」ハ支鮮人共產黨員ヲ被壓迫民族トシテ同情的態度ヲ示シ巧ニ之ヲ操縦シ日本ノ對滿對露政策ヲ牽制セント策シツ、アルモノ、如シ

六、馬賊、敗兵ニ對スル軍事工作狀況

元來共產黨員ト支那軍警匪賊等トハ其ノ主張ニ於テ相容レサルモノアリシカ滿洲事變後ニ於テハ打倒日本帝國主義、打倒滿洲國、吉會鐵道敷設反對等當面ノ主張一致ヲ見ルニ至リタルヲ以テ相互接近ノ機會ヲ生シ叛亂兵、馬賊、其他ト共同戰線ヲ張リ救國軍其他軍事團體ニ加入シ内部ヨリ畫策煽動シ各種ノ兇暴行為ヲ演シ計畫ノ實現ヲ圖リツ、アル現狀ナリ

本信寫送付先

奉天、吉林、天津、上海、哈爾濱各總領事

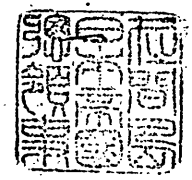
亞細亞局
機密第五四六號

昭和七年五月二十七日

昭和七年六月二十日 接獲

在間島

總領事岡田兼



外務大臣子爵齋藤 實 殿

中國共產黨東滿特委ノ事業計畫

會議開催ニ關スル件 (齊聲子分署長報告)

特委ニ於テハ現下ノ時局ニ鑑ミ一般民衆ニ對スル主義宣傳其他ノ事業停頓狀態ニアルヲ遺憾トシセカ對策講究並工作計畫ヲ討議スヘク五月十二日延吉

縣尚議鄉茶條溝與森林地内ニ於テ東滿特委重要幹部梁在豐外十八名集合シ左ノ決議ヲ為シタリト
右御參考迄報告ス

記

一日本出兵以來東滿各一般民衆等ハ彼等ノ武斷行勤ニ恐怖シツツアリテ革命事業達成上一大支障ヲ未タシタルヲ以テ各宣傳ノ任ニ當ル黨員ハ農夫ヲ裝ヒ目下耕作中ノ農民ニ對シ現下ニ於ケル日本帝國主義ノ武力行為ハ世界ノ大勢ニ鑑ミ永續セサルヘキヲ説キ無産革命運動ニ勇往邁進スル様專ラ潛行的ニ宣傳スルコト
一後日ノ遊撃戰ニ備フル為メ各地方ニ跳梁シツツアル及乱軍操縱ニ努ムルコト

I-0773

0248

但國民黨ノ走狗タル王德林部隊ハ絶對打倒スルヲ原則トスルモ政策上出未得レハ同部隊内ニ支那語精通セル黨員ヲ加ヘセシメテ「アライシヨ」ヲ組織シ全員ノ赤化ヲ圖ルコト

三、日本軍撤退期迫ハ一切ノ露骨的行動ヲ中止スルト同時ニ表現團體トシテ滿鮮親善會ヲ組織シ專ラ中韓民族ノ團結ヲ圖リ併ヒテ滿洲國家ニ對スル反對思想ノ普及ニ努ムルコト

四、吉會線敷設工事ニ付テハ日本軍閥カ武力ヲ以テ保護シツツアルニ依リ露骨ナル反對事業ハ不可能ナルニ付該工事ニ從事スル勞力群眾内ノ「アラシシヨ」組織ニ努メ以テ赤化破壊工作ニ促進ヲ圖ルコト

本信寫送付先

- 在中公使、北平參事官、奉天、吉林、哈爾濱、長春、各總領事領事
- 朝鮮總督、間島派遣員
- 朝鮮軍第十九師團西參謀長、間島臨時派遣隊長
- 朝鮮憲兵隊司令官、羅南憲兵隊長、間島派遣憲兵隊長
- 間島陸軍特務機關長
- 關東廳警務局長
- 管下一般

I-0773

0249

亞細亞局

機密第七三七號

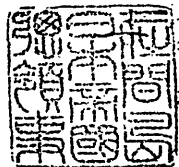
第三號

圖

昭和七年七月十二日

在問島

總領事 岡田兼



歐米局

外務大臣伯爵内田康哉殿

問津地方ニ於ケル中國共產黨ノ暴動計畫

ニ附スル件

(謀知)

本件ニ關シ中國共產黨東滿特委ニ於テハ滿洲省委ノ指令
 ニ基キ八月一日國際節ヲ期シ左記計畫ニ依リ問津地方
 ニ暴動ヲ起スヘク延和汪琿各縣委宛指令ヲ發シタル趣
 ニテ各級黨機關ニ於テハ目下準備中ナリト

右報告ス

記

- 一、自七月一日至七月十日ヲ暴動宣傳期トシ縣委以下各級黨機關附屬ノ反帝同盟共產青年會及少年先鋒隊ヲシテ一般民衆ニ對シ暴動ニ關スル各種ノ宣傳ヲナサシムルコト
- 二、自七月十一日至七月二十日ヲ暴動機關組織及試練期トシ各級黨部ハ所屬ノ反帝同盟其他ノ機關ヲ網羅シ暴動機關ヲ組織シ日滿機關ノ走狗及資産家ニ對スル脅迫清算其他暴動實行ノ訓練ヲ施スコト
- 三、暴動期ニ際シ暴動赤衛隊ハ鐵道ノ破壞走狗ノ清算小都市ノ襲撃ヲ其他ノ暴動隊ハ資産家ノ財産分配放火等ヲ一舉ニ決行スルコト

I-0773

0250

本信寫送付先

在中公使 北平参事官

奉天 吉林 哈爾濱 長春各總領事領事

朝鮮總督 咸北知事 向島派遣員

朝鮮軍 第十九師團西参謀長 向島派遣隊長 向島特務機關長

朝鮮憲兵隊司令官 羅南憲兵隊長 向島派遣憲兵長

關東廳警務局長

管下一般

I-0773

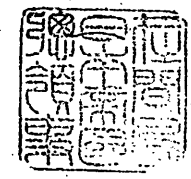
0251

藍細亞局
機密第七六六號

昭和七年七月十八日

在開島

總領事 岡田兼



外務大臣伯爵内田康哉殿

歐米局

中國共產黨延吉縣委及所屬機關、組織
狀況ニ關スル件

本件ニ關シ内查ヲ遂ケタル狀況左記ノ通ニ付報告ス

(謀知)

懸案

中國共產黨延吉縣委及所屬機關、組織狀況
調査表

中國共產黨延吉縣委員會

役名氏	名別名	年齢	本籍	備考
縣責任	朴世俊	宋	三〇 平崗	銅佛寺東方約二里板城溝村金元所方又同坪村金昌斌方(但シ金昌斌方ハ村中前面ニ位シ大門前ニ白楊樹三本アリ)
組織部長	張大人	丈高	二五 和龍縣内	以下各人全部因所ニ潜伏ス
宣傳部長	金一王		三三 彈	第次開島共產黨事件ニ連坐ニ懲役三年ニ處テ之昭和五年滿期出獄セリ有リ
秘書	書金圭極	弱人	四二 局子街市	本八元第三次開島共產黨州條者蘇炳化ノ妻ナリ
職工委員會	李雪馮哥		四〇 彈	
婦女委員會	金贊	コハタニ	二二 龍井村	
幹事	金具達雲	金鼎山	二五 穩	
反帝縣責任	孫寶	孫哥	二七 支那人	小延集崗西山村
宣傳部長	朴東和	吳男	二六 小營子	元局子街水南縣立十三枝教員
組織部長	金海星		三〇 馬盤山	小延集崗西山村

摘 要

I-0773

0252

青年部責任 崔 某
 婦女部責任 欠員
 三〇位 細鱗河 文度七才位 同

(二) 共產黨延吉縣農民協會

農協部責任 崔鳳林
 宣傳部長 金柳和
 組織部長 張 某
 婦女部責任 金仁愛
 青年部責任 欠員
 二七位 細鱗河 小北溝
 三〇位 延集崗
 三五位 汪 清

小延集崗旗哥地方西山村
 以下同一場所ニ潜伏ス

共產黨首魁金勳ノ妹

(三) 共產黨延吉縣互濟會

互濟部責任 金培日
 宣傳部長 姜泰益
 組織部長 崔 某
 救濟部責任 張元俊
 二六位 局子街 體拾
 三八位 馬盤山
 四八位 局子街市 八字髭

九水河太陽村附近ニ潜伏ス
 但ニ金倍日ハ金圭極ノ長男ナリ
 以上各幹部ハ共產黨員東

(四) 共產黨老頭溝區委員會

役 名氏	名 別	年 齡	本籍又所	特 人	相 貌
區責任 姜尚鎬		二八	馬盤山	中額	肉丸
組織部長 尹春一	平月	三〇	依蘭溝	額丸	
宣傳部長 權春三	宋哥	四〇	宣川人	一見老人風	
軍事部長 姜明秀		二四	石門內	額長	
職工委員會 宣傳部長 兼任					
婦女委員會 欠員					

馬盤山姜泰益位
 銅佛寺南方約一里半、簸箕溝甘泉洞
 金龍善方ニ潜伏ス
 甘泉洞ハ約七戸、鮮人部落ナリ
 松書ハ責任ヲ兼任ス

(一) 共產黨老頭溝區反帝同盟

反帝區責任	宣傳部長	組織部長	青年部責任
姜武鎬	李春傑	曹東一	金白山
三二	三〇	三〇	二二
老頭溝 文額	細鱗河 普通	細鱗河 廣東村	龍淵河
九	同	同	同

簸箕溝甘泉河及龍淵村附近ニ潜
 伏ス
 同
 同
 會員約三百名

I-0773

0253

婦女部責任 欠員

(四) 共產黨老頭溝區互濟會

互濟區責任	金秉湜	二一	龍箕溝	普通
宣傳部長	嚴甲俊	三五	大興河	
組織部長	安泰根	三三	玉井河	
救濟部責任	欠員			

以上各部長、共產黨員兼任

銅佛寺龍箕溝自泉洞細鱗河大興洞附近潜伏、以上各部長、共產黨員兼任、會員約一百五十名

(三) 共產黨老頭溝區農民協會

農協區責任	李慶熙	三八	龍箕溝	普通
組織部長	姜京八	二三	馬盤山	
宣傳部長	金永憲	二五	甘泉洞	
青年部責任	崔某	二八	玉井河	
婦女部責任	欠員			

姜泰益長男

會員約三百五十名、本役員、共產黨員ニテ兼任シアリ、且龍箕溝龍淵洞及細鱗河玉井河潜伏ス

(二) 共產黨老頭溝區共產青年團

役名	氏名	別名	年齢	本籍	又所	人種	相徴
共青區責任	金弘範	ニソリ	二三	樺甸子	出類	齒長	通
組織部長	金崗山		二二	大興河	普通		
宣傳部長	金崗山		二二	大興河	普通		
職工委責任	朴某		二二	同	同		
婦女委責任	金彩仙		一八	同	口邊ニ黒點アリ		

捕

要

以上各人、細鱗河大興河附近ニ潜伏ス

(一) 共產黨老頭溝區赤衛隊

赤衛隊長	崔秉哲	三〇	玉井河	顔	九
第一中隊長	呂鍾錫	三〇	大興河	普通	
第二中隊長	金基山	二六	老頭溝	同	
第三中隊長	金基山	二六	老頭溝	同	
遊撃隊長	朴柱哲	三三	太陽村	黒顔	肉色長

(一) 共產黨老頭溝區遊撃隊

延吉縣太平溝石門内北洞金東郁、下李南載方又、同北洞裏山森林間、或洞

以上、何ニ現住所ニ潜伏シ附近赤衛隊ヲ指導シアリ、赤衛隊ハ三々制ニシテ一大隊ハ三中队一中队ハ三小队ニシテ總員約百二十名アリ、本隊、共產黨各機關、幹部會議、其他會合、除立哨監視、密ニ高遊撃隊ヲ援助シ、且木火武器ヲ有シ、時々走狗清算ヲ為ス

遊撃隊長	朴 某	三位	同	普通
遊撃隊員	金寬燮	三位	同	普通
同	金龍洙	三位	同	普通
同	安 一	三位	同	普通
同	韓 光	二位	同	普通
同	王德泰	三位	同	普通
同	吳長占	四位	同	普通

仲等鐵箕溝水南馬哥森林山ニ潜伏ス
 携帶武器長銃八挺同彈丸約三百發拳銃
 十二挺同彈丸約百五十發ヲ有ス
 民會考議員其他日本側走狗ノ清算資產
 家ノ金品糧食鐵道工事ノ妨害軍用自
 動車裝撃計畫、叛亂兵匪ノ聯絡等ニ當
 リ居リ
 遊撃隊ノ總員二十名ニテ常ニ灰色支那
 陸軍服ヲ携帶シ隨時裝束シアリ

(一) 共產黨先頭溝區各支部

大興洞支部責任	金成郁	七	大興洞	不明	各人共現任所ニアリ
新興洞支部責任	池東哲	七	新興洞	不明	黨員七名
大北溝支部責任	朴敬郁	三	大北溝	不明	黨員三名
鐵箕溝支部責任	金龍國	二	鐵箕溝	不明	黨員三名
大橋洞支部責任	金昇彦	二	大橋洞	不明	黨員四名

(五) 共產黨依蘭溝區委員會

役名	氏名	別名	年齡	本籍又ハ住所	人種	相模	摘
支部責任	李石八		三	葦子溝	朝鮮	黨員三名	
支部責任	朴松壁		三	天寶山	朝鮮	三名	
支部責任	李南載		三	太平溝石門内北洞	朝鮮	七名	

依蘭溝九龍坪東南方約三里即山
 楊哥地方ニ潜伏ス

區責任	金哲山	三位	王隅溝	朝鮮	長
組織部長	林昌乙	二位	北花連里	朝鮮	長
宣傳部長	金俊德	三位	同	朝鮮	長
軍事部長	方昌範	三位	馬鹿溝	朝鮮	長
職工委責任	朴 某	三位	南陽村	朝鮮	長
婦女委責任	永彬	八	平崗	朝鮮	長
秘書	呂乙兼任				

(一) 共產黨海蘭區委員會
 (依蘭溝區ニ附屬シタル) 特別區(北花連里中心)

要

I-0773

0255

區責任 林昌瑞
 組織部長 朴元益
 宣傳部長 金南熙

本區、依蘭溝區所屬區ニシテ特別區ナリ
 北花蓮里學校村ニ根據ヲ置ク

(四) 共產黨依蘭溝區遊擊隊

依區(兼) 方昌範
 遊擊隊長 千壽童
 政治部長 金一善
 遊擊隊員 李今錫
 同 朴錦善

依蘭溝柳葉溝中村又ハ同下東溝ニ
 潛伏附近各地ニ出没ス又局子街管内
 官廳尾附近樹林間ニ潛伏スルコトアリ
 携帶武器
 長銃ニテ抵禦九不明峯銃十挺位
 總隊員千餘名アリ遊擊自草溝局子街
 間吉清峯ニ於テ我軍ニ連絡自動車
 ニ襲撃セリ

(六) 共產黨八道溝區委員會

八區責任 金松波
 組織部長 金泰勳
 宣傳部長 崔東斌

九水河永昌洞又ハ興信洞附近ニ
 潛伏ス
 職工委、婦女委責任者ハ不明

役 姓名 別名 年齡 本籍又
 秘 書 安 某 七十一 三〇位 新興洞 新 興 洞 普 通

摘 要

(七) 共產黨甕聲區委員會
 甕區責任 宋 斌
 組織部長 吳 某
 宣傳部長 金 哥

茶條溝仲坪里又ハ同東興村ニ潛伏
 職工委、婦女委軍事部長等不明

(八) 共產黨局子街區委員會
 區責任 韓東實
 組織部長 金長燮
 宣傳部長 朴東和

局子街市内ニ潛伏ス
 局子街市内又ハ小池集崗四山村ニ潛伏ス

但シ職工委、婦女委其他不明
 本信寫送付先
 在中公使、北平參事官

I-0773

0256

奉天 吉林 哈爾濱 長春 各總領事領事
朝鮮總督 咸北知事 向島派遣員
朝鮮軍 第十九師團西參謀長 向島派遣隊長 向島特務機噐長
朝鮮憲兵隊司令官 羅南憲兵隊長 向島派遣憲兵長
關東廳警務局長
管下一般

I-0773

0257

亞細亞局
機密第八二三號

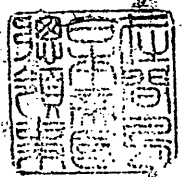
昭和七年八月一日

在問島

總領事 岡田兼

井上

昭和七年八月八日
別紙添付



外務大臣伯爵内田康哉殿

中國共產黨滿洲省委東滿特委、新組織

體系ニ關スル件

(謀知)

本件ニ關シ謀知シタル處ニ據レハ中國共產黨滿洲省委東滿特別委員會ニ於テハ五月一日附中央黨部ヨリ滿洲省委ヲ經テ從來ノ組織改組方指令ニ依リ別紙圖表ノ通改組ニタリト

右報告ス

本信寫送付先

在中公使 北平參事官

奉天 吉林 哈爾濱 上海 長春各總領事領事

朝鮮總督 咸北知事 向島派遣員

朝鮮軍 第十九師團兩參謀長 池田派遣隊長 向島特務機長

朝鮮憲兵隊司令官 羅南憲兵隊長 向島派遣憲兵長

州東軍參謀長 州東廳警務局長

管下一般

I-0773

0258

中國共產黨滿洲省委特委新組織關係圖

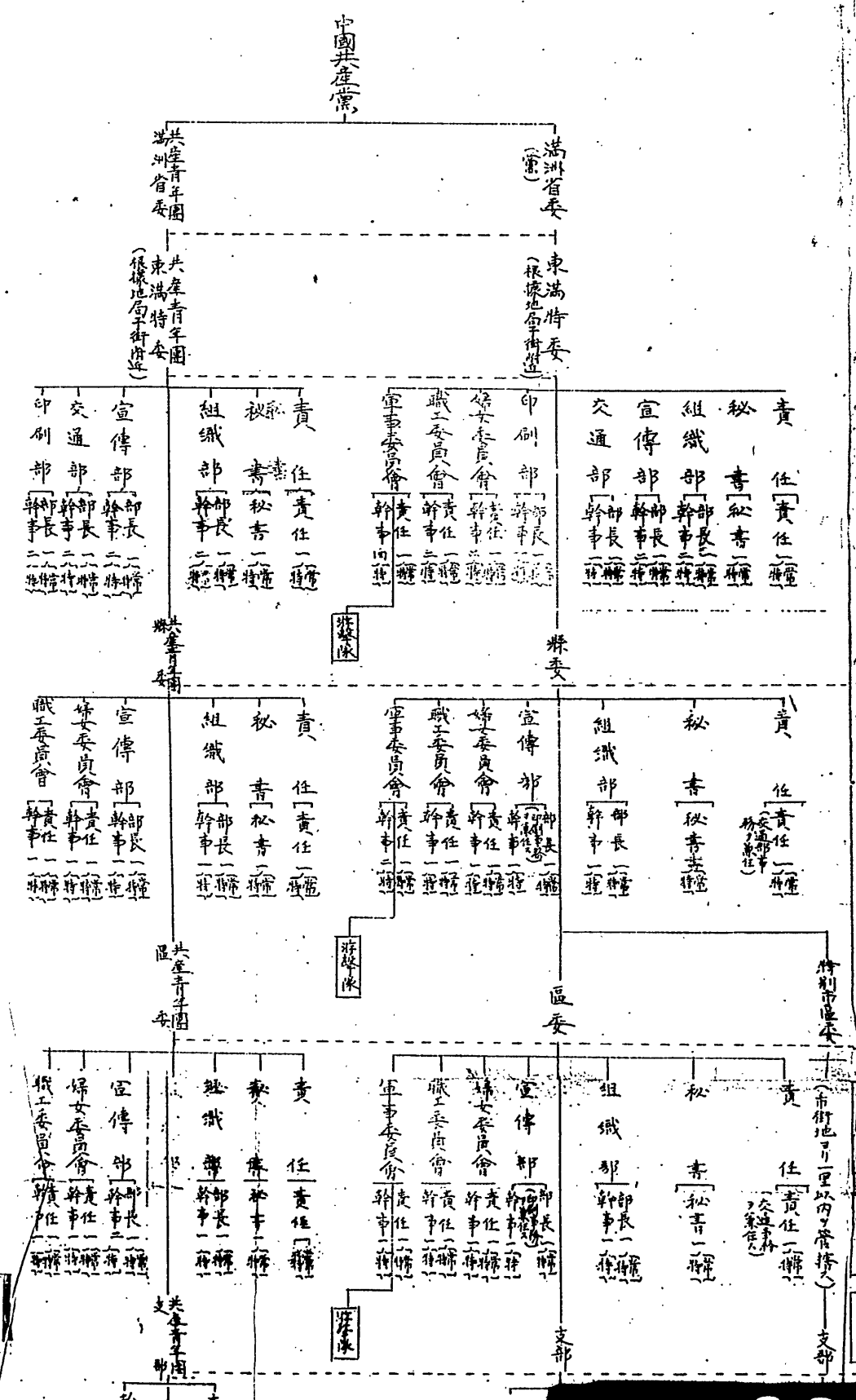
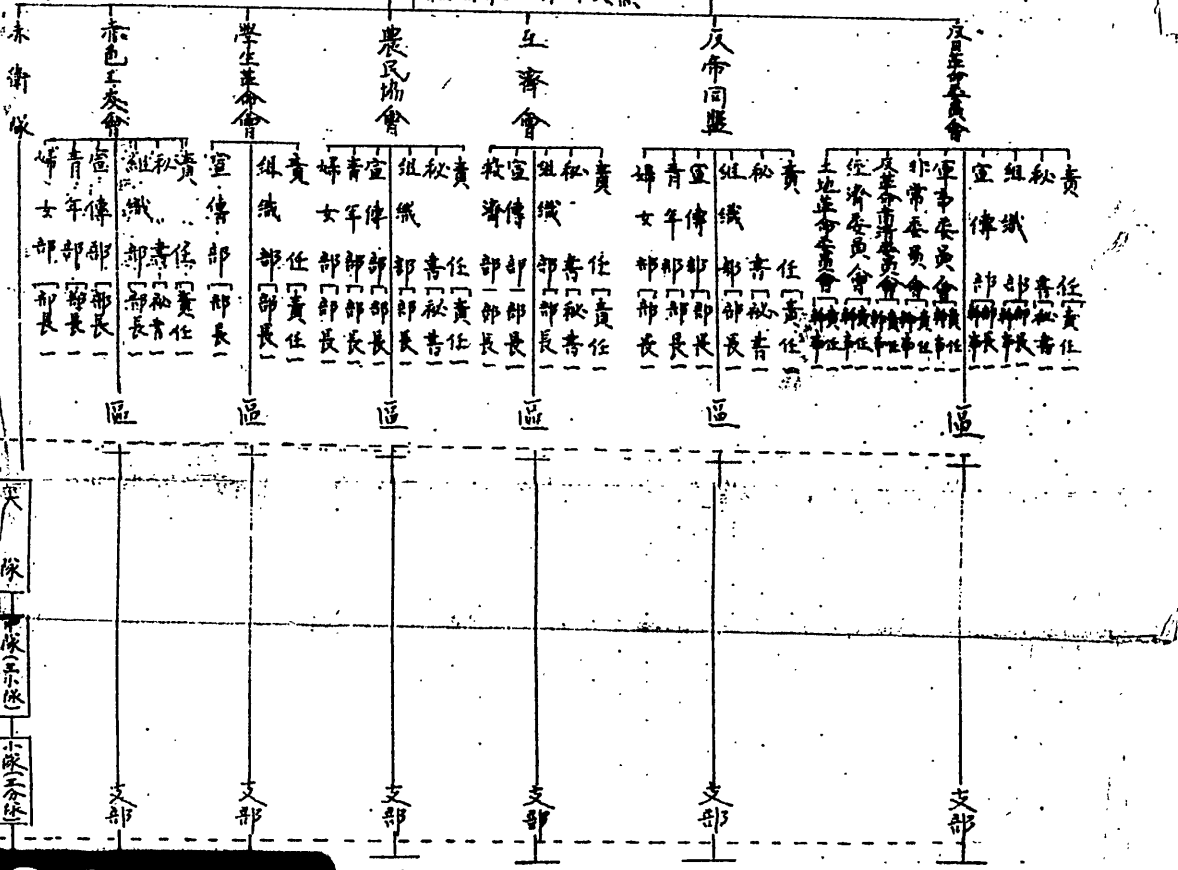
(昭和七年七月日)

(在問島總領事館)

考 備

- 一、中國共產黨滿洲省委於八月一日附中央黨部訓令，滿洲省委之組織，從前之組織改為分指令，其下之機關，亦隨之而改組。
- 二、從前共產青年團、黨、並屬機關，其重要之任務，有之，居之不遑，黨員之青年，會員之輕視，亦頗有之，其下之機關，亦隨之而改組。
- 三、黨部之機關，亦隨之而改組。
- 四、青年團及附屬機關，同級、黨部之中心，相互之關係，亦隨之而改組。
- 五、赤衛隊、各區之大隊，置於總之，其其他之機關，亦隨之而改組。
- 六、游擊隊、各級黨部，黨部之行使，場合之不同，亦隨之而改組。
- 七、特別市、區、具下屬之機關，亦隨之而改組。
- 八、黨部之機關，亦隨之而改組。
- 九、黨部之機關，亦隨之而改組。
- 十、黨部之機關，亦隨之而改組。

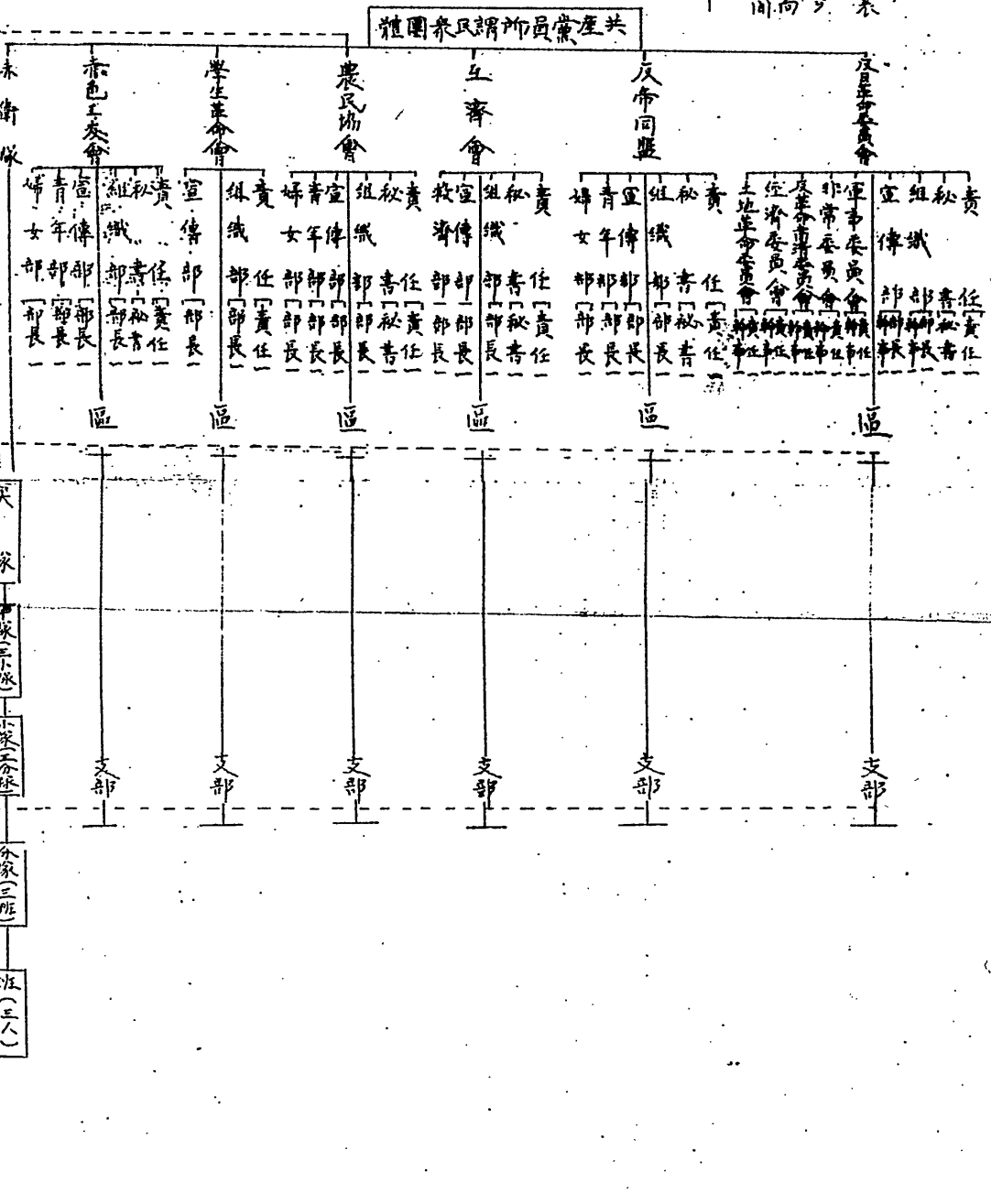
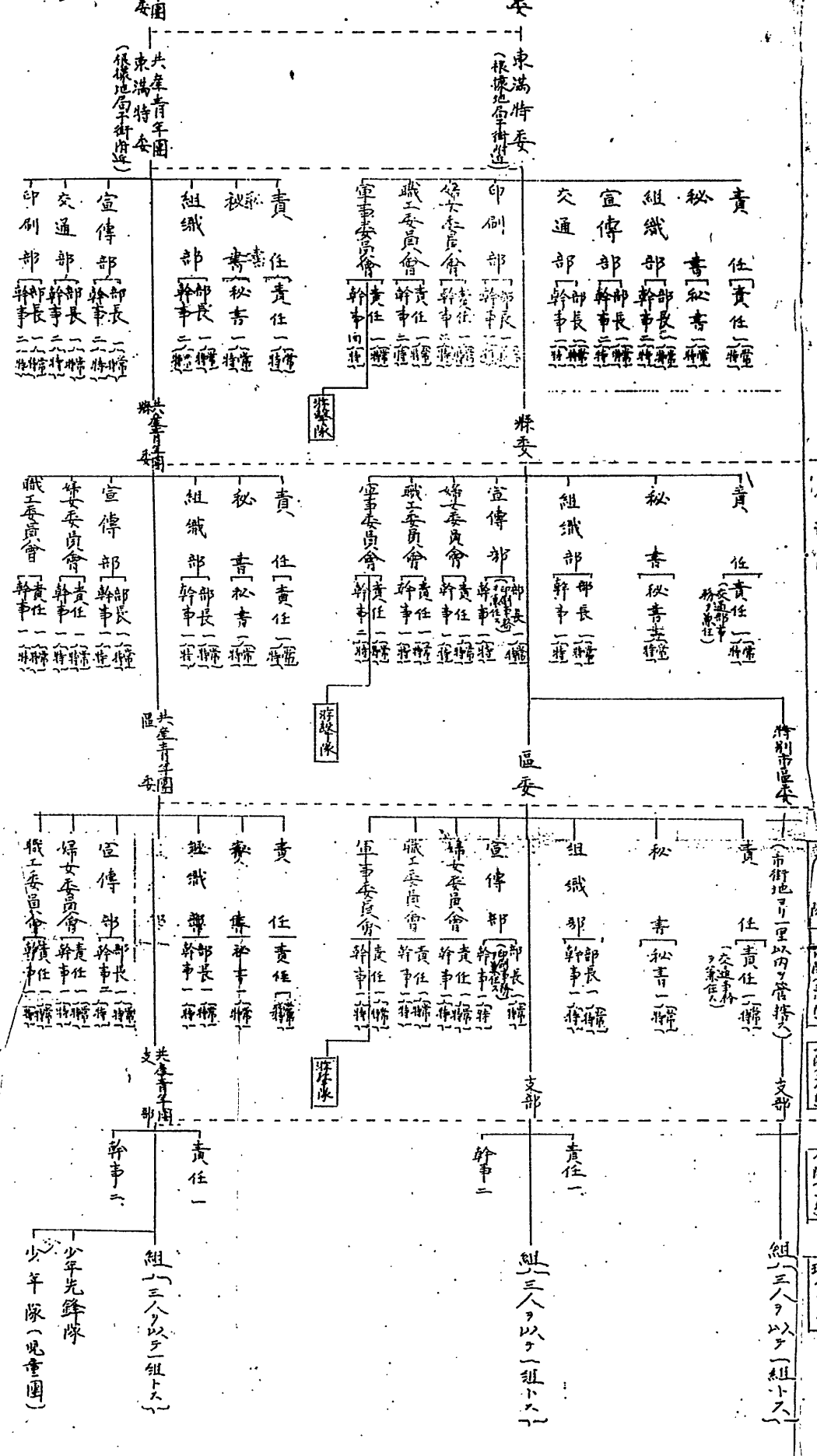
共產黨黨員團體



I-0773

0259

一、中國共產黨東滿特委ニ於テ八月一日付中央黨部ヨリ
 滿洲省委ヲ經テ發來組織改組方針指示アリタルニ依リ圖未
 二、從來共產青年會ハ黨ノ直屬機關トシテ重要ナル役割ヲ
 有シ居ルニ依リ中央黨部直ニシタル趣ニ力ヲ盡シ而シテ
 三、共產黨員ノ所謂民衆團體タル黨附屬機關ノ幹部
 四、青年團及附屬機關ハ同級黨部ヲ中心ニ相互密
 五、赤衛隊ハ各區ニ一大隊ヲ置キ總テノ黨其他黨
 六、游擊隊ハ各級黨部ニ屬シ黨ノ黨力行使場合ニ
 七、特別市區ハ且下屬子街及龍井村ノ二所在リ
 八、黨員ハ其他機關員ニ資格
 九、無產者ハ労働有產者ハ即時黨員トシテ下
 十、中農ハ中農並ニ貧農校放免其他
 十一、少年隊(兒童團)
 十二、共產青年團員
 十三、少年隊(兒童團)ハ赤衛隊亦附隊其地
 十四、歳以上十五歳
 十五、歳以上
 十六、歳以上
 十七、歳以上
 十八、歳以上
 十九、歳以上
 二十、歳以上
 二十一、歳以上
 二十二、歳以上
 二十三、歳以上
 二十四、歳以上
 二十五、歳以上
 二十六、歳以上
 二十七、歳以上
 二十八、歳以上
 二十九、歳以上
 三十、歳以上
 三十一、歳以上
 三十二、歳以上
 三十三、歳以上
 三十四、歳以上
 三十五、歳以上
 三十六、歳以上
 三十七、歳以上
 三十八、歳以上
 三十九、歳以上
 四十、歳以上
 四十一、歳以上
 四十二、歳以上
 四十三、歳以上
 四十四、歳以上
 四十五、歳以上
 四十六、歳以上
 四十七、歳以上
 四十八、歳以上
 四十九、歳以上
 五十、歳以上
 五十一、歳以上
 五十二、歳以上
 五十三、歳以上
 五十四、歳以上
 五十五、歳以上
 五十六、歳以上
 五十七、歳以上
 五十八、歳以上
 五十九、歳以上
 六十、歳以上
 六十一、歳以上
 六十二、歳以上
 六十三、歳以上
 六十四、歳以上
 六十五、歳以上
 六十六、歳以上
 六十七、歳以上
 六十八、歳以上
 六十九、歳以上
 七十、歳以上
 七十一、歳以上
 七十二、歳以上
 七十三、歳以上
 七十四、歳以上
 七十五、歳以上
 七十六、歳以上
 七十七、歳以上
 七十八、歳以上
 七十九、歳以上
 八十、歳以上
 八十一、歳以上
 八十二、歳以上
 八十三、歳以上
 八十四、歳以上
 八十五、歳以上
 八十六、歳以上
 八十七、歳以上
 八十八、歳以上
 八十九、歳以上
 九十、歳以上
 九十一、歳以上
 九十二、歳以上
 九十三、歳以上
 九十四、歳以上
 九十五、歳以上
 九十六、歳以上
 九十七、歳以上
 九十八、歳以上
 九十九、歳以上
 一百、歳以上



I-0773

0260

機密第九〇〇號

昭和七年八月十八日

在關島

總領事 岡田兼

外務大臣伯爵内田康哉殿

中國共產黨延吉縣委、八月二十九日記念

工作大綱配付ニ關スル件

(謀知)

中國共產黨東滿特委、八月二十九日日韓併合記念日當日若クハ其前後ニ於ケル暴動計畫ニ關シテハ八月十五日附拙信機密第八八五號ヲ以テ報告致置キタル處其後謀知シタル處ニ據リハ延吉縣委ハ東滿特委ノ指

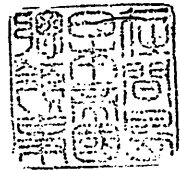
令ニ基キ左記譯文ノ如キ、八月二十九日記念工作大綱ヲ決定シ所屬各黨部宛配付シタリト

右報告ス

記

八月二十九日記念工作大綱譯文(延吉縣委決定)

一日本帝國主義ハ滿洲ヲ強占スルト共ニ勞農群衆大屠殺ノ過中ニ於テ中韓反日兵民群衆ノ決死的反日戰爭ハ開始準備セラレ第二十二週年ノ韓國併合記念日ヲヨリ以上有意義ナラシムヘク民族主義者封建層ニ至ル迄反日戰線ニ起タシメ一切ノ勞力群衆ヲ廣汎的ニ召集シ黨ノ周圍ニ陣ヲ張ラシメ縣委ハ次ノ如キ工作大綱ヲ提出シ各區ニ巡視員ヲ派遣シテ記念工作ヲ指示檢閲セシム尚各級黨部ハ八月二十日前ニ記念準備工作進行程度ヲ縣



南滿特委
昭和七年八月廿五日接受



I-0773

026

報告ハヘシ更ニ具体的計畫ヲ發佈スヘク準備シ居リ
人準備工作

八月十日以前ニ於テ黨團ハ勿論群眾團體及一般群眾ニ
至ル迄八月二十九日ノ略史及教訓ニ對スル(宣傳大綱参照)
認識ヲ充分ナラシメ群眾ヲシテ自發的ニ八月十五日前ニ
月二十九日記念籌備委員會ヲ組織セシメ反帝思想ヲ抱
持スル非組織群眾ヲモ参加セシムヘシ(中國人ヲ加入セシメ)
八一工作行動委員會ヲ、八廿九行動委員會ニ轉變セシメ
ルト同時ニ籌備委員會トノ聯絡ヲ敏活ニシ籌備委員會
ト行動委員會ハ五月ニ一回會議ヲ開キ工作檢閲ト新
方針ヲ決議スルコト(各區黨部ヲ嚴密ニ指導スルコト)
ニ宣傳工作

區游撃隊、行動宣傳隊及籌備委員、特委ノ宣傳大綱ヲ

詳悉シ置キ八月二十五日前ニ處女地帯及組織微弱ナル村落
ニ二回以上飛行集會ヲ開キ路上講演ノ形式ヲ以テ宣傳爲
スヘシ中國人ノ同志ナキ時ハ中國語ヲ解スル韓國人同志
ヲ以テ中國人ニ對スル宣傳隊ヲ組織シ中國人勞力群眾ノ
裏面ニ中韓聯合戦線ヲ張り武裝的ニ日本帝國主義ヲ驅
逐スルコト、日帝ノ中韓民族感情挑發ニ反對スルコト、工農
兵代表會議ソウエト擁護等ノ口號ヲ切實ニ諒解セシメ
記念大會ニ参加ヲ煽動スルコト、又ハ支部ノ黨團員ハ勿論
群眾團體員等ハ競争的ニ非組織落後群眾ノ裏面ヨリ
個別談話、新聞朗讀會ノ形式ヲ以テ八月二十九日ノ略史
ト教訓及反帝思想ヲ鼓吹シ附屬組織ニ編入セシメ記念
工作ニ動員スル様積極的ニ活動スルコト、而シテ特委
ノ二種ノ宣言及縣委ノ二種ノ宣言ヲ第一期ハ八月十五

日前後、第二期八月二十九日前後に宣佈スルコト
各區委ハ各種口號ヲ三期に分チ宣佈シ「反帝戰線」赤
×消息「鑛山工友」等ハ八月二十九日紀念號トシテ八
月二十五日以前に發佈スルコト

3. 各種闘争連絡ニ對シテ

記念、為ノ記念トセス闘争、為ノ記念ヲラシムヘク、反封建、
反白色、秋收闘争等、小部分的闘争ヲ發動展開シ吉會鐵
道反對、游撃隊擁護ト反日戦争ノ援助ニ對スル當面工
作ヲ徹底的ニ執行シ大衆ノ自發的示威運動迄進行スル
様宣傳鼓吹シ又西戰線反對闘争ヲ勇敢ニ舉行シ口ノ
ミヲ以テ叫ビ實踐ナキ西面派ニ反對スルト共ニ右傾調和
主義的傾向ト左傾命令主義的態度ヲ完全ニ肅清スル
コト

4. 記念式執行ニ對シテ

八月二十五日ヨリ三十日迄記念大會ヲ開催シ群衆ノ闘争
發展ト時局推移ノ形勢ニ從ヒ公開大會示威ヲ行ヒ記念
式ハ八一行動委員會ニ於テ五〇%ノ増加ニ努力シ殊ニ
中國人ヲ多數参加セシメ宗教層、民族主義派中走狗
ニ非サル分子ハ全部出席セシメ記念式ニ於テ民族自
決ニ對スル深キ解釋ト黨ノ時局ニ關スル主張ヲ諒解
セシメ非組織群衆ヲ附屬組織ニ陣取ラシメルコト

5. 工作技術ニ對シテ

集會場所ニハ文書、其他證據材料ノ携帶ヲ禁止シ普
通會議ニ五人以上ト一時間以上ニ時間ノ延長ヲ為サ、ル
コト、若シ檢舉セラルタル場合ニハ黨秘密ヲ絶對死守シ
隊内(特ニ老區甕區)ニ於ケル動搖分子ノ嚴密ナル監視

ト赤衛少年先鋒隊ノ赤色戒嚴施行ニ特別ノ注意ヲナ
スコト

一九三二年八月六日

中國共產黨延吉縣委

本信寫送付先

在中公使 北平參事官 奉天 吉林 哈爾濱 長春各總領事

朝鮮總督 咸北知事 向島派遣員

朝鮮軍 第十九師團西參謀長 向島派遣隊長 向島特務機關長

朝鮮憲兵隊司令官 羅南憲兵隊長 向島派遣憲兵長

開東軍參謀長 開東廳警務局長

管下一般

I-0773

0264

水米局

西川世局 亞細亞
機密第九〇六號

昭和七年八月十九日

言

昭和七年八月廿五日
別紙添付



在問島

總領事 岡田兼



外務大臣伯爵内田康哉殿

中國共產黨延吉縣委ノ八月工作計畫大綱
ニ謝スル件 (謀知)

中國共產黨延吉縣委ノ八月二十九日記念工作大綱配付
附シテハ八月十八日附拙信機密第九〇六號ヲ以テ報告致
置キタル處更ニ謀知スル處ニ據テハ中國共產黨延吉縣委
別紙譯文ノ如キ八月工作計畫大綱ヲ定メ所屬黨部宛指令

シタニ趣ナリ
右報告

本信寫送付先

- 在中公使 北平参事官 奉天 吉林 哈爾濱 長春各總領事
- 朝鮮總督 咸北知事 向島派遣員
- 朝鮮軍 第十九師團西参謀長 向島派遣隊長 向島特務機附長
- 朝鮮憲兵隊司令官 羅南憲兵隊長 向島派遣憲兵長
- 關東廳警務局長 關東軍参謀長
- 管下一般

I-0773

0265

延吉縣委ノ八月工作計畫大綱

一、組織問題

(1) 甕聲區ニ對シテ

組織最ニ微弱タル該區ノ復活策ニ就テハ來ル八月十五日
以內ニ區幹部一名ヲ増派シ又他區ヨリ亡命シタル同志ヲ
同區ニ轉任セシメ八月内ニ健全ナル支部五ヶ所以上ヲ建
設シ倒木溝、大明月溝、哈爾巴嶺等ノ要塞地ノ組織化ニ特
ニ力ヲ注キ婦女黨員引入レノ闢門主義ヲ肅清スルコト、
三道崴ノ工人小組ヲ構成シ土門子、大嶺洞、茶條溝、聖教村
等ノ走狗組織ノ擴張セル村落ニ對シテハ赤色テロヲ以テ
反革命首領分子ヲ掃蕩スルコト

(2) 八道溝區ニ對シテ

特ニ金鏡支部ノ發展策トシテ職工委ハ一層努力シ八月
以內ニ工人黨員20%ヲ増加シ婦女黨員10%ヲ引入レ又鳳
林洞支部ノ復活及八道溝市、朝陽市ノ特別小組ヲ設置
スルト共ニ延集崗ノ處女地帯ノ開拓ニ主力ヲ傾注スル
コト

(3) 老頭溝區ニ對シテ

炭鑛ニ黨團員三名以上ヲ潛入セシメ工人支部ヲ建設シ婦女
黨員15%ヲ増加セシメ又銅佛寺ニ核心ヲ置キ北西溝支部
ノ動搖ニ特別監視ヲ加ヘ鷄冠山、白沙砬子等ノ處女地帯
ノ開拓ニ一層努力スルコト

(4) 依蘭區ニ對シテ

海蘭分區(海蘭分區(北)ニ花蓮里ニあり)ニ常務幹部一名ヲ八月二十日內ニ派
遣シ婦女黨員ノ20%増加ヲ圖ルコト、尚ホ依蘭區中團
人支部ヲ別ニ構成シ又葦子溝支部ヲ復活シ樺甸子支

部ヲ東盛灣區ニ管理セシメ小營子、廣濟村等ニ核心ヲ置ク
コト

(5) 局子街區及龍井區ニ對シテ

幹部ハ全部職業化ニ努メ八月二十日以内ニ職工委員ヲ派
遣シ貧民協會、赤色工友會ノ組織ニ積極的ニ努力シ學生
層ノ黨團員引入ニ付テ最ニ監視シ中國人ノ組織ト横
的關係ヲ断切スルコト

二、宣傳問題

八月二十日以内ニ各區ノ宣傳部長ハ區内各群衆團體宣傳部
責任ト共ニ遊行宣傳隊ヲ編成シ短期宣傳(三日以上ニ亙ル
ヲ得ス)訓練ヲ行ヒ反帝縣同盟機關紙「反帝戰線」ハ八月
二十九日記念號トシテ發刊シ「群衆團體宣傳品」ハ必ラス
黨ノ檢閲ヲ受クルコト、支部ノ遊行宣傳隊ハ固定的ニ置カ

サルコト(宣傳工作計畫ハ八月二十九日記念工作大綱ヲ参照)

三、吉會鐵道反對問題

今日迄吉會鐵道反對工作ハ消極的盲動主義ナリシカ今後ハ完
全ナル具體的計畫ヲ立テサルヘカラス外部的工事破壞ヲ計
畫スルノミナラズ黨團以外ノ群衆團體ノ勇敢ナル同志ヲ
工人トシテ鐵道工事ニ潛入セシメ(各區ハ一工區ニ十名以上
ノ同志ヲ早期間内ニ派遣スルコト)下層工人ノ宣傳組織ニ
一層努力シ赤色工友會、反帝同盟支部ヲ建設シ工人自體カ
吉會鐵道反對ノ認識ヲ充分ナラシメ工頭(人夫頭)ト護路兵
ノ武装ヲ奪取シ反日軍ニ参加スル様宣傳シ常ニ下層工人ト
衝突ヲ避クヘシ殊ニ遊撃隊ハ武装的ニ工人ヲ威迫シ工人ノ感
情ヲ害シ敵側ニ傾クカ如キ行為ハ錯誤的觀念ナル又吉會
鐵道反對各隊ノ組織ヲ公用的ニ編成スルコトハ非技術的デア

ルカ故ニ極秘裡ニ整頓シテ計畫的工作ヲ實行ナルコト
四、軍事問題

(一) 游擊隊

依蘭區游擊隊ハ護路兵ト白色自衛團ノ武装奪取工作ヲ計畫的ニ實踐シ八月以内ニ一中隊ヲ完全ニ編成シ開山屯區、喫呀河區ハ赤色武装勢力ヲ以テ反革命分子ヲ鎮壓ナルコト
老頭區游擊隊ハ甕聲區内ニ於ケル赤色テロ工作及八道溝區内ニ於ケル鑛山警察隊、地主等ノ武装奪取ヲ断行シ
八月内ニ二小队ヲ編成シ尚ホ力量擴大セバ小營子(屯灣子又赤岩呼子)ノ白色自衛團ヲ討滅ナルコト

(二) 兵士工作

中國兵士ノ直接指導ハ特委(東滿特委)之ニ任シ日本兵士ニ對シテハピラ、ホスノ工作及日本語ヲ解スル同志ヲ軍隊

内ニ潜入セシノ常ニ兵隊ト交リ宣傳訓練ヲ行ヒ逃亡ヲ圖ルコト

五、反日戰爭擁護問題

九月中旬以内ニ東滿ニ進出スヘキ反日兵士(匪賊救國軍)ノ來到ヲ待テ開始セラルヘキ反日戰爭ニ對シテハ全力量ヲ盡シ積極ニ援助スルコト、義勇軍編成訓練及反日兵士慰問團代表ノ群眾的選出並歡迎旗、慰問品等ノ準備、鐵道破壞電線ノ切断隊等ハ八月二十五日內ニ終了ナルコト、但シ具體的計畫ハ更ニ東滿特委ノ指示ヲ仰シコト

六、秋收闘争籌備問題

各區ハ秋收闘争籌備委員會ヲ大小麥收穫以前ニ公開的ニ組織スルハ不可ナルニ付發露セサル様技術的ニ行フト同時ニ貧農民ノ自發的の不糧闘争(地主ノ穀物分配)ヲ為ス様群

衆ノ思想ヲ一層發動セシメ地主富豪ノ穀物沒收負債不辨
租税不納等ノ闘争ヲ為サシメ土地革命意識ヲ切實ニ認識
セシメ反帝闘争ニ聯繫スルコト

七、八月二十九日記念工作問題ハ別紙決定案参照

一九三二年八月五日

中國共產黨延吉縣委

I-0773

0269

昭和七年八月廿五日 7.8.25

機密第九三二號

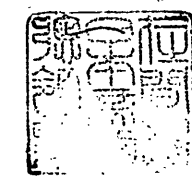
昭和七年八月二十五日

歐米局一



在問島

總領事岡田兼



外務大臣伯爵内田康哉殿

中國共產黨延吉縣委老頭溝區委ノ決議
ニ關スル件 (謀知)

ニ關スル件

(謀知)

本件ニ關シ謀知シタル處ニ據レハ中國共產黨老頭溝區委ハ縣委ノ指令ニ基キ左記譯文ノ如キ決議ヲ為シ八月九日附所屬延吉縣關宛之カ實行方指令ニタリト
題案 右報告ス

記

老頭溝區委員會ノ決議案 (譯文)

一 組織問題

一、現在一般同志中ニ政治生活ヲ組織的ニナラシムルヲ知ラサル者カアル。黨ノ組織ハ最モ嚴密ニシテ又紀律ハ無慈悲ナル。組織的行動ヨリ離レ紀律ヲ紊亂スル同志ハボルシエウキ的生活ヨリ離レントスル者テアル。現ニ老頭溝區内ニ肅清セサル非組織的病弊ヲ擧ケレハ前衛ノ別名ヲ呼ブコト。幹部ノ姓名ヲ公開スルコト。同志等ノ寫真ニ別名ヲ附スルコト。幹部ノ姓名ヲ非組織群衆ノ面前ニ於テ公然呼ビ公開化セラル、カ為メ遂ニ未狗ノ耳ニ傳ハリ日本帝國主義ノ手ニ依リ檢擧セラレタル同志尠カラズ之

I-0773

0270

レ大ナル損失ヲアル、爾今別名ヲ造リ、姓名ヲ公開化ナル同志ハ容觀的及革命者ト見做シ嚴正ナル規律ニ依リ處罰セントス又機關ノ命令ニ依ラズテ個人的ニ其ノ所在ヲ披シ又ハ個人的交際ヲ求メントスルカ如キハ之レ皆非組織的行為タルニ付今後ハ連カニ之ヲ肅清スルコト

二、縣委ニ婦女委一名ヲ要求スルコト、北西溝支部ノ動搖ニ對シニケ月間ノ停權ヲ與ヘルコト、婦女同志七名ヲ黨員トシテ承認スルコト

一、宣傳問題

八月十七日前ニ群眾團體宣傳部長及區游行宣傳隊ヲ召集シ短期(二日間)訓練ヲ與ヘ區游行宣傳隊ハ八月二十九日行動委員會ニ直屬セシメ、八月二十九日記念ニ對スル特委縣委ノ

宣言以外ニ區委ニ於テ又一回ノ宣言ト二回ノ口號ヲ宣佈シテ赤キ消息レハ八月二十九日記念號トシテ八月二十五日以前

ニ撤布スルコト

二、青年問題

共產青年團(七名)ノ第二黨的傾向ヲ退治スルコト、第一、第五支部ニ黨巡視員ヲ派遣シ檢閲スルコト、農民青年代表會議ヲ速カニ開催セシメ少年先鋒隊ニ混入シアル黨員ハ少年先鋒隊トノ聯絡ヲ絶斷セシムルコト

三、職工問題

一、炭鑛ニ共產黨員二名、共產青年團員三名ヲ八月内ニ必ラス潜入セシメルコト
二、吉會鐵道工人トシテ黨員七名、共青年團員十名、群眾團體員三名ヲ潜入セシメルコト

3、雇農工會ト農民協會ハ密接ナル横的關係ヲ結ブコト
一、婦女問題

1、婦女代表會區幹部ヲ八月十日以内ニ整頓スルコト
2、婦女代表會及地方代表會ハ一ヶ月ニ二回宛定期的ニ開催スルコト

3、卧龍洞抑婚闘争(豫制の結婚 反對運動)及北西溝反封建闘争並母鹿溝賣婦闘争ヲ發動展開セシムル為婦女代表會、區委等ヲ派遣スルコト

一、軍事問題

1、游撃隊ハ細鱗河富興洞小北溝等ノ公用的走狗清算ト敵ノ武装奪取ニ努メ八月内ニ二小队ヲ編成スルコト
2、赤衛隊少年先鋒隊ノ武装訓練ヲ一層奨励スルコト
3、八月二十五日内ニ反日義勇軍十五名ヲ編成訓練スルコト

4、區軍事委員會責任ト赤衛隊大隊長ヲ分離スルコト(兼任)
一、當面問題

1、秋收闘争籌備委員會ヲ八月二十日前ニ組織シ大麥小麥分配闘争ヲ發動展開スルコト
2、吉會鐵道反對闘争ハ一層猛烈ニ發展セシムルハ勿論ナル又工事破壊等ノ計畫ハ輕卒ニ行フコトナク各隊ヲ編成シ準備シ置クコト、而シテ具體的計畫ハ縣委ノ指示ヲ待ツコト
3、反日戦争擁護ニ就テハ反日革命委員會ノ中心任務トシ其歡迎旗慰勞品ノ準備、鐵道破壞、電線切斷隊ノ編成、慰問代表選出ニ對スル具體的ノ方針ヲ立テ八月二十五日迄其準備完了スルコト

一、八月二十九日記念工作問題
縣委工作大綱ト特別指示ニ依ルコト

I-0773

0272

一九三二年八月九日

中共老頭溝區

本信寫送付先

在中公使 北平參事官 奉天 吉林 哈爾濱 長春各總領事

朝鮮總督 咸北知事 向島派遣員

朝鮮軍 第九師團西參謀長 向島派遣隊長 向島特務機噐長

朝鮮憲兵隊司令官 羅南憲兵隊長 向島派遣憲兵長

關東軍參謀長 關東廳警務局長

管下一般

I-0773

0273

亞細亞局

機密第九八六號

昭和七年九月七日

三瀧

昭和七年九月拾壹日接受
別紙添附

水米局

外務大臣

外務大臣伯爵 内 田 康 哉 殿

在間島
總領事代理領事 瀧 山 瑞 次



昭和七年九月六日滿大機密第四號寫送付

武藤特命全權大使 宛

一、共產黨各級黨部ノ戰線統一ニ關スル東滿特委ノ指令ノ件

在間島日本總領事館

I-0773

0274

滿大機密第四號

昭和七年九月六日

別紙添付



在間島

總領事代理領事龍山靖次郎

滿洲派遣特命全權大使武藤信義殿

共産党各級党部ノ戦線統一ニ關スル

東滿特委ノ指令ノ件

本件ニ關シ謀知スル處ニ依レハ最近中國共産党東滿特別委員會ニ於テハ各縣各區委員中ニ前後ヲ顧慮スルコトナク暴動ヲ主張スル妄動左傾派ト緩和主義又ハ改良主義ヲ主張スル右傾派ト向派抗争シ共産党各級党部ノ行動上ニ不

統一ヲ來サントスル兆候アルニ鑑ミ去ル八月十五日附管下各縣各區各支部全体黨員宛別紙譯文ノ如キ「兩條戦線」
反ソルヒキ的
左若傾向戦線反對ニ就キ各級党部ニ與ヘル文」ヲ發布シ戦線統一ヲ企圖シ居レリト
右報告ス

本信寫送附先

外務大臣 在中公使 北平參事官

奉天 吉林 哈爾濱 長春各總領事

朝鮮總督 咸北知事 間島派遣員 關東廳警務局長

朝鮮軍 第十九師團 關東軍各參謀長

朝鮮憲兵隊司令官 羅南憲兵隊長 間島派遣憲兵長

間島派遣隊長 間島特務機關長

管下一般

I-0773

0275

兩條戰線反對闘争ニ就テ各級党部ニ與ヘル文

(譯文要旨)

各縣各區各支部全体同志等ヨ、目下全中國ノ革命形勢ハ全中國勞力群衆ノ全線的攻勢ノ總同員ヲ要求シテ居ル。彼ノ白色恐怖カ如何ニ殘虐ヲ敢テスルモ革命ノ火焰ハ益高クナルノミテアル。吾等ハホルシエヴィーキ陣營ヲ擴大強硬化セシメ全東滿ノ無産青年ニ號令シ共產党ノ周圍ニ固ク陣取ラシメホルシエヴィーキ路線ニ領導シナケレハナラス。然ルニ現下東滿ノ我革命運動線上ニハ不都合極マル兩條戰線即チ左傾右傾ノ兩派カ擡頭シテ居ル。

琿春縣委ハ「客觀的形勢切迫シテ居ルカラ武装的暴動ヲ速ニ実行シナケレハ革命ハ遂ニ失敗ニ歸スル」ト云ヒス。宛聲區委ハ「日本帝國主義ノ慘酷ナル白色恐怖ノ受難期ニ逢着シ

タル吾等ハ將來ニ步前進スル爲此ノ際ハ一步退ケヨ」ト提議シテ居ル。琿春縣委ハ李立三主義ヲ復活セントスル左傾理論テアリ。宛聲區委ノ提議ハ羅章龍ノ主義ニ從ハントスル右傾論者テアル。

勿論滿洲革命ノ客觀的形勢ハ極メテ切迫シ勞力群衆ノ總動員ヲ要求スル機運ニ直面シテ居ルカ革命ノ主觀的條件(組織地帶カ極少数タルコト、工人ノ運動カ發展セサルコト、都市工作カ微弱テアルコト、游撃隊運動カ初期ニアルコト、兵士工作カ幼稚テアルコト等)ハ大暴動ヲ実行スル力量ヲ未タ準備シテ居ナイ現状テアル。元來暴動ハ主權爭奪戰テアルカ爲革命カ高潮ニ達シタル時始メテ暴動ヲ惹起スルノテアル。故ニ如何ニ客觀的形勢カ急迫スルモ即時大暴動ヲ惹起セントスルコトハ却ツテ失敗ヲ招來スル左翼消化病者即チホルシ

エヴィーキ的理論テアリ又滿洲ヲ強奪シタル日本帝國主義カ
勞力群衆ヲ屠殺シ革命組織ヲ破壊シテ党ト群衆ヲ分離
セシムル政策ヲ実行シ白色恐怖カ如何ニ殘虐ヲコトスル
モ群衆闘争ノ潜行勢力ハ益高揚セラレ革命群衆ノ決死的
覺悟ハ結局階級的闘争ヲ離レス又現下革命カ全般的大
高潮期ニ達シ今ヤ總攻撃ヲ断行セントスル現階段ニ於テ
將來ニ歩前進センカ爲現在ニ於テ一歩ヲ退カントスル理論
ハ革命ニ背反シ緩和主義、合法主義、改良主義ニ變節シタ
ルモノテアリ且帝國主義ノ前ニ屈服セントスル危險ナル右
傾的理論テアル

全党同志等ヨ 茲ニ於テ東滿特委ハ琿春縣委ト、瓊聲區委
ノボルシエヴィーキ的党主義ヲ離レントスル錯誤理論ヲ指摘排
撃スルト共ニ如斯危險思想ヲ党隊内ヨリ一掃シ全党隊内、整
頓ト健全ナル發展ヲ期スヘク茲ニ全体同志ニ兩條戰線反對
ノ指示ヲ下シ現下政治的路線ヲ正路ニ導キ党隊内ノ思想
統一ニ努力センコトヲ希望ス

一九三二年八月十五日

中國共產党東滿特委

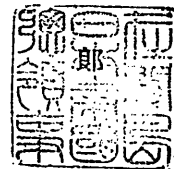
0
歐米局

機密第九九八號

昭和七年九月九日

在間島

總領事代理領事瀧山端次



外務大臣伯爵 内田 康 哉 殿

昭和七年九月八日滿大機密第八號寫送付

武藤特命全權大使 宛

一 中國共產黨東滿特別委員會ノ暴動計畫ニ關スル件

在間島日本總領事館

亞細亞局

別紙添附
昭和七年九月拾四日

鷄案

I-0773

0272

滿大機密第八號

昭和七年九月八日

別紙添付



在閩集

總領事代理領事瀧山靖次郎

滿洲派遣特命全權大使武藤信義殿

中國共產黨東滿特別委員會ノ暴動計畫ニ關スル件 (謀知)

本件ニ關シテハ不取敢電報致置キタル處中國共產黨東滿特別委員會ニ於テハ滿洲省委ノ指令ニ基キ別紙譯文ノ如キ決議文ヲ九月十八日滿洲事變一週年記念工作大綱ニシテ共產黨各黨部ニ發布シ暴動實行ヲ計畫中ノ趣

ニ付嚴重警戒中ナリ

右報告ス

本信寫送付先

- 外務大臣 在中公使 北平参事官
- 奉天 吉林 哈爾濱 長春各總領事
- 朝鮮總督 咸北知事 州東廳警務局長
- 朝鮮軍 第十九師團 州東軍各参謀長
- 朝鮮憲兵隊司令官 羅南憲兵隊長 同島派遣隊長
- 同島派遣憲兵隊長 同島特務機關長 飛行隊長 東南部守備隊長
- 北部守備隊長 西南部守備隊長 植野顧問 同島派遣員
- 琿春派遣隊長 琿春淺野大尉 同琿春各金融部理事
- 東拓支店長 管下一般

I-0773

0279

九月十八日滿洲事變一週年記念工作大綱（譯文要旨）

一、國際資本主義諸經濟体系ノ總崩壞ト列強帝國主義國家
間ノ對立ノ尖銳化ト無産階級革命運動ノ高揚ハ資本主
義社會制度ノ根本的動搖ニシテ實ニ經濟的政治的危機
ニ切迫シタノデアル茲ニ於テ世界帝國主義タル日本ハ朝
鮮、台灣等ノ殖民地搾取ノミニテハ到底自國內ニ於ケル
三百萬ノ失業群衆ノ飢餓ト一般勞働者農民ノ貧窮ヲ
救出スル途ナク又各工場ノ商品沈滞セル經濟恐慌ヲ挽
回スル方法ハ滿洲ヲ占據スルニ如カストシ即昨年九月十
八日奉天ニ於ケル日帝軍閥ハ南滿鐵道破壞（日帝軍閥
ノ陰謀手段）ヲ口實トシ南東軍ヲ出動シテ奉天ヲ占領
スルト共ニ引續滿洲各重要都市ヲ強奪シ又上海ニ進攻
シ最近ニハ熱河地方迄進出シテ居ル

如斯日本帝國主義ノ侵略ニ對シ國民黨軍閥ハ何等抵抗シ
得サルノミナラス却ツテ民衆ノ反日革命運動ヲ鎮壓シ所
謂帝國主義ノ忠實ナル走狗化トナリ東北軍閥張景惠
熙洽袁金凱等ノ賣國賊等ハ日本帝國主義ノ操縱ニ依
リ國民政府ト分離獨立ヲ宣言シ宣統廢帝及日帝ノ使節
等ヲ混合シテ滿洲國家ト稱スル日本帝國主義ノ別働隊
ヲ産出シテ居ル而シテ日本帝國主義ハ滿洲ヲ永遠ニ占
領シ吉會鐵道ヲ敷設シ數十萬ノ移民計畫ヲ立テ在滿中
韓勞苦群衆ノ大屠殺ヲ計リ我無産革命運動ヲ撲滅シ
ソビエト聯邦ヲ進攻セサレハ其野慾ヲ達成スル方法ナ
ク為メ既ニ數萬ノ中韓勞苦群衆ハ日帝ノ銃劍ニ露トナ
リ各所ニ於ケル革命組織ハ大危害ヲ受ケ又彼等ハ東支
鐵道ニ危害ヲ加ヘ漸次ソビエト露西亞ノ進攻ヲ計畫

I-0773

0280

シテ居ル

然レモ在滿中韓勞苦群衆ノ革命熱ハ益々沸騰シ反日兵士ノ勢力ハ益々擴大セラレ南方紅軍ノ勝利ハ日毎ニ傳ハリソウイェト露西亞ノ世界帝國主義ニ對スル對抗準備ハ漸次進行シツ、アル

一、茲ニ於テ來ル九月十八日滿洲事變一週年記念ハ現下政治狀勢ノ下ニ於テ最重要ニシテ此記念ヲ力強く規模大キ範圍廣ク計畫的ニ決行スルコトハ我革命勢力ヲ一層擴大スル所以ニシテ日本帝國主義及國民黨軍閥地主資産階級ヲ打倒シソウイェト政權ヲ樹立スル為メ最必要且ツ徑路アル故ニ東滿特委ハ本工作大綱ヲ提出スルニ就イテハ各縣各區委ハ充分ナル討議ヲ經テ工作計畫ヲ立テ百バセントノ工作執行ヲ希望スルト共ニ東滿特委ハ各縣ニ巡視員ヲ特派シテ特ニ記念工作ヲ指導監視スルコトヲ茲ニ通告ス

工作計畫

一、準備工作

一、九月七日辛丑條約記念工作ト南方赤軍ノ勝利祝賀大會ト反日兵士慰勞會等ノ諸工作ヲ以テ先ツ組織群衆ノ革命熱ヲ發動セシメ九月七日前ニ各種中韓反日團體代表ノ聯合會議ヲ開催シ滿洲事變記念籌備委員會ヲ設クルコト

二、九月十日前ニ記念工作行動委員會ヲ各區ニ組織シ其委員ハ黨部ト密活ナル聯絡ヲ保テ區行動委員會ヲラクテハ該地方ノ籌備委員會ヲラクテト密接ナル聯絡ヲ執ルコト

三、琿春縣及安圖縣ノ如キ反日軍ノ駐屯シ居ル地方ハ籌備

委員會ト行動委員會ニ反日兵士代表ヲ参加セシメ又將
擊隊組織サレタル區ニ行動委員會ニ游擊隊代表ヲ
参加セシムルコト

九月十八日前反日兵士進出スル地方ニ於テハ兵民委員會
ヲ組織シ民衆代表ヨリ記念籌備委員又ハ行動委員
ヲ選出スルコト

一、宣傳工作

一、各支部黨員團員及籌備委員ハ義務的ニ地方宣傳隊
トナルコト、行動委員會ハ特別ニ宣傳隊ヲ三隊以上組
織シ宣傳講演ニ専門的ニ活動シ中韓勞力群衆ヲ獲
得ニ努メ處女地帯、學校、鑛山ニ主力ヲ行フコト
ニ特委、機關紙「東滿紅旗」ノ外各縣各區、機關紙ハ
滿洲事變一週年紀念號ヲ九月十日以前ニ發刊シ又

東滿特委ハ滿洲事變ニ對スル宣言(中日韓文)ヲ九月

十八日前ニ二回ニ亙リ撒布シ各縣ハ記念宣傳ハ

九月七日、同月十八日迄ニ撒布シ各區ハ可成九月十八日

ニ宣傳ヲ行フ、毛筆隊、粉筆隊(白黑隊)工作ヲ一齊

ニ舉行スルコト

一、行動工作

客觀的情勢ト群衆ノ情勢ト正確ニ認識シ
延吉縣委ノ窺聲碕子區ハテロ工作、宣傳講演、ノ及革
命分子ヲ縮少セシメ落後群衆ヲ救取シ老頭溝區、八道溝區
ハ地主富豪、走狗ノ穀物其他財産ノ沒收ト中韓群衆、縣
合示戒ヲ舉行シ依蘭溝區ハ地主富豪走狗ノ穀物其他
財産ノ沒收及高利貸金融業者ノ帳簿ノ燒却ト走狗ノ
清算、敵機關ノ破壞及武器ノ奪取ニ努メ龍井及局子

I-0773

0282

街區ハ敵ノ政治的經濟的施設破壞ヲ目標トシテ各種ノ
工作ヲ行ク

和龍縣委ノ三道溝區平崗區ハ赤色ヲロノ斷行殺物ノ分
配ヲ實行シ崑山屯區大拉子區ハ地主富豪穀物其他財產
ノ沒收ト群眾示威ヲ舉行シ東盛湧區ハ宣傳講演、群眾
大會ヲ計畫實行スルコト

汪清縣委ノ一區二區ハ地主富豪、財產沒收走狗清算、群
衆示威ヲ舉行シ三區ハ赤色ヲロノ工作、宣傳講演ヲ目標
トシ四區五區ハ宣傳講演、群眾大會ヲ舉行スルコト

琿春縣委ノ黃區五區ハ地主富豪走狗、財產沒收及武裝示
威ヲ舉行シ琿春區ハ敵ノ政治的、經濟的、施設破壞ト
大官暗殺等ノ計畫ヲ行ヒ三區東區ハ地主富豪ノ財產沒收
宣傳講演、群眾示威ヲ舉行スルコト

安圖縣委ハ武裝示威記念大會ヲ正式ニ舉行スルコト

一、反日兵士聯合工作

反日兵士カ記念日前ニ進出スル地方ハ必ス兵民委員會
ヲ組織シ記念工作ヲ聯合的ニ執行スルコト、其執行要
項ハ大小都市ノ襲撃、走狗首領ノ銃殺、吉會鐵道其
他敵ノ施設破壞、及武裝示威ヲ舉行スルコト

二、工作技術ニ就テ

組織ト計畫ヲ極ク技術的ニ執行シ秘密ヲ嚴守シテ失敗
ヲ招致セサル様ト注意シ動員スル群眾ハ犧牲的覺
悟ヲ持タルト共ニ隊内ノ反動分子ヲ嚴重ニ監視スルコト

一九三二年八月二十七日

中國共產黨東滿特委

米局

亞細亞局

機密第一一六四號

第三課

昭和七年十月十八日

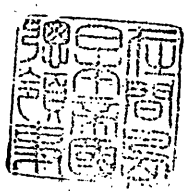
在間島

總領事

永

井

清



外務大臣伯爵 内田 康哉 殿

昭和七年十月十八日滿大機密第六七號寫送付

武藤 大使 宛

一 中國共產黨延吉縣委ノ十月月中ニ於ケル工作計畫案ニ關スル件

昭和七年十月廿四日接

別紙添



在間島日本總領事館

I-0773

0284

滿大機密第六七號

昭和七年十月十八日

別紙添付



在間島

總領事

永井

清

在滿

帝國特派全權大使武藤信義 殿

中國共產黨延吉縣委ノ十月中ニ
於ケル工作計畫案ニ關スル件 (諜知)

本件ニ關シ中國共產黨延吉縣委ハ十月中ニ
於ケル共產黨ノ工作計畫ニ關シ東滿特委ノ
指令ニ基キ十月五日附別紙譯文ノ如キ工作
計畫案ヲ所屬各黨支部ニ指令シ既ニ準備工

作ニ着手セル趣ナルニ依リ派遣隊及滿洲國
側ト聯絡シ嚴密内查警戒中ナリ
右報告ス

本信寫送付先

外務大臣、奉天、吉林、哈爾濱、長春各總領事

朝鮮總督、咸北知事、間島派遣員

朝鮮軍第十九師團西參謀長、關東軍參謀長

間島派遣隊長、間島特務機關長、間島派遣憲兵長

朝鮮憲兵隊司令官、羅南憲兵隊長

關東憲兵隊司令官、關東廳警務局長

管下一般

I-0773

0285

延吉縣十月工作計畫案

一、組織工作

依蘭溝區ニ對シテハ區責任同志ヲ縣委ニ
補選シ縣組織部長ヲ區責任ニ轉任スルコト
雇農區ヲ十月十五日迄ニ完全ニ建設シ中
國人ノ雇農引入レニ努力スルコト及日革
命委員會土地部ヲ組織スルコト及黨人引入
ニ工人10%婦女25%貧農15%ヲ增加スル
コト花蓮里支部(海蘭區管内)ノ復活ト九龍
坪支部再組織ヲ十月月中ニ實行スルコト
老頭溝區ニ對シテハ黨職工委員ト婦女委
員ヲ十月十日迄ニ派遣シ又中國人同志ヲ
炭坑鉄道工人専門ニ作委員トシテ派遣ス

ルコト炭坑内ノ黨團ヲ合セテ黨支部ヲ建
設スルコト及黨員引入ニハ工人15%婦女20
%貧農15%ヲ增加スルコト大橋洞支部及
箕溝支部ト老頭溝銅佛寺ノ小組ヲ十月
中ニ完全ニ建設シ又鷄冠山白砂碕子榆樹川
地方ニ於ケル核心工作ニ努力スルコト
八道溝區ニ對シテハ工作良好ナル中國人
同志等ヲ及帝區及日革命委員會幹部ニ採
用スルコト及金礦工會委員天圖鐵路工會委
員聯席會議ヲ十月二十日迄ニ開催シ工人
運動委員會ヲ組織シ其ノ責任同志ヲ黨區
職工委員ニ補選スルコト
黨員引入レニ工人15%婦女20%貧農20%

ヲ増加スルコト又鳳林洞支部ト信興洞支部八道溝小組ヲ十月内ニ完全ニ建立スルコト
夔聲區ニ對シテハ工作能率擧ラサル現在ノ區幹部全員ヲ十月ニ改選再組織ヲ断行シ又雇農區ヲ十月二十日迄ニ完全ニ建設スルコト
互濟區ト女子代表會區ヲ十月中ニ復活スルコト
黨員引入レニハ工人10%婦女10%貧農15%ヲ増加シ土門子小組ニ整理スルコト
夔聲市支部ト大明溝支部ヲ十月中完全ニ建設スルコト

二 宣傳工作

區遊行宣傳隊ヲ各區三組以上編成シ專問トシテ活動セシメ其ノ宣傳費ハ隨時區黨部宣傳部ニ於テ支給スルコト
各區宣傳隊ハ十月中ニ非組織群眾千名以上ニ宣傳シテ群眾ヲシテ組織化セシムルコト
十月革命宣傳材料ヲ中心トシテ各區ハ機關報ヲ發刊スルコト
ビラポスターヲ隨時散布シ右ハ兵士工作ニ重キヲ置クコト

三 共青工作

依蘭溝區夔聲區責任同志ヲ黨員ニ昇格シ尚共青團員數ヲ黨員數ヨリ増加スル様努

I-0773

0287

カスルコト
獲聲區ニ對シテハ党部ニ於テ共青工作ヲ
特ニ補助シ十月中ニ共青支部六個所以上
ヲ完全ニ建設スルコト
八道溝區ニ對シテハ党部ニ於テ共青區委
一名ヲ派遣シ少年先鋒隊ト革命學生會區
幹部ノ工作ヲ嚴密檢閲シ青年ノ主義的傾
向ヲ監視シ工作能力ナキ幹部ヲ整理スルコト
老頭溝區ニ於ケル共青團員力第二党的傾
向濃厚ナルコトハ党部ノ共青領導力微弱
ナルカ為ナリ共青ノ區工作ト中心支部ノ
工作ヲ党部ハ隨時檢閲シツツ黨團ノ橫的
關係ヲ密接ニ保チ工作上ノ錯誤ヲ速ニ肅

清スルコト、農民青年代表會組織ヲ完了ス
ルト同時ニ党部ハ少年隊(兒童團)ヲ十月中
ニ50%増加スル様共青工作ヲ補助スルコト
四、工人工作
八道溝金礦工作ニ對シテハ黄色労働組合
ニ激烈ナル党團員五名以上ヲ十月中ニ潜
入セシメ黄色労働組合ノ工人欺瞞ト搾取
ニ對シテ工人ノ闘争意識ヲ發動セシメ怠業
罷工ヲ煽動シ革命要素ヲ抱持スル分子ヲ
党内ニ引ハルルコト
赤色工會幹部ハ積極的ニ奮闘シテ十月中
ニ十名以上ノ工會員増加ニ努力スルコト
老頭溝炭坑工作ニ對シテハ縣委ヨリ工作

贛三十團ヲ十月中ニ支給シ中國人同志ヲ
炭坑内ニ潜入セシメ其ノ家族ノ生活費ヲ
補助シテ一般炭坑工人ト交際セシメ一方
蘇薪團ヲ公開的ニ組織シ經濟闘争意識ヲ
鼓吹スルト同時ニ反日思想ヲ注入セシメ
反帝同盟赤色工會ヲ十月中ニハ必ス建設
スル様努力スルコト
各區雇農工作ニ對シテハ秋收前後ヲ
期シ雇農(非組織雇農ニ含ム)聯合會議ヲ開
催シ闘争條件ヲ詳細説明シ雇農ノ利益擁
護ニ努力スルコト
五、軍事工作
遊撃隊ニ對シテハ依蘭溝區遊撃隊ハ十月

中ニ一中隊ヲ編成シ七頭溝區遊撃隊ハ十
月中ニ二個小隊以上ヲ編成シ其ノ遊撃隊
員中最ニ激烈又ハ武装技術アル者ヲ選抜
シテ遊撃隊模範隊ヲ組織スルコト
政治委員ハ小隊内ニ一名宛置クコト
遊撃隊中心工作ニ對シテハ敵ヲ武装勢力
微弱ナル小都市襲撃地主及日滿軍警白色
自衛團ノ武装奪取資産家富農ノ財産没收
群衆ノ秋收闘争ノ援護等ヲ強硬ニ實行ス
ルコト
赤衛隊ニ對シテハ依蘭溝區ハ一大隊ハ道
溝ハ二個中隊甕聲區ハ一個中隊ヲ十月中
ニ編成シ少年先鋒隊中積極分子ハ赤衛隊

ニ編入セシムルコト
赤衛隊ノ工作ニ就テハ及革命分子ノ清算
地主富農ノ穀物分配秋收闘争等ノ先鋒隊
役割ヲ主ナル任務トシテ夫々實行スルコト

六 秋收闘争

秋收闘争行動委員會ヲ各區ニ置キ同會領
導ノ下ニ小作人同盟ヲ編成シ各村毎ニ小
作人大會ヲ開催シ地主ト抗争シ四六三七
ニ八制(土地ノ良不良ニ依リ)ヲ實施シ又小
作人闘争力量微弱ニシテ地主ノ勢力強烈
ナル場合ニハ遊撃隊赤衛隊ヲ動員シテ其
ノ地主ヲ威嚇シ小作人ノ利益ヲ擁護スルコト
特ニ東拓會社所有地ニ對シテハ農監ヲ打

殺シ其ノ穀物ヲ沒收シ小作人ト避難家族
ニ分配スルコト其ノ際狀勢ニ依リテハ公
開的示威ヲ行ハサルコト
負債苛捐雜税ニ就テハ高利貸金融業者及其
ノ從者ヲ打殺シ高利貸帳簿又ハ契約債證
等ノ燒失地照税金徵收員ノ帳簿等ヲ破棄
スルコト

防穀ニ對シテハ防穀委員會ヲ組織シ十月
二十日迄屯大會村大會等ヲ開催シ防穀ニ
對シ具體的決議ヲ為サシメセニ及對スル
者ハ遊撃隊ニ報告スルコト

七 十月革命記念準備工作
蘇聯十月革命第十五週年記念ヲ一増強烈

ニ迎フル為各區ハ記念工作籌備委員會ヲ
十月十五日迄ニ組織シ十月革命宣傳ニ努
力シ各種闘争ヲ發動セシメ更ニ縣委ノ具
体的計畫案ヲ待ツコト

一九三二年十月五日

中共延吉縣委

I-0773

029:

歐米局

亞細亞局

機密第一一七〇號

昭和七年十月十九日

第三課

在間島

總領事

永

井

外務大臣伯爵 内 田 康 哉 殿

昭和七年十月十九日滿大機密第六九號寫送付

武 藤 大 使 宛

一 共產黨ノ秋收闘争決議ニ關スル件



昭和七年拾月廿四日
別紙添付
D



在間島日本總領事館

I-0773

0292

滿大機密第六九號

昭和七年十月十九日

別紙添付

在間島

總領事永井清

在滿

帝國特派全權大使武藤信義殿

共產黨ノ秋收鬭爭決議ニ関スル件 (謀知)

本件ニ関シ中國共產黨東滿特委ニ於テハ
間諜地方ニ於ケル秋收鬭爭實行方策ニ就
別紙譯文要旨ノ如キ決議ヲ為シ十月三日
附所屬各級黨部ニ通達シタル趣ナリ

右報告ス

本信寫送付先

外務大臣 奉天 吉林 長春 哈爾濱各總領事

朝鮮總督 咸北知事 間島派遣員

朝鮮軍第十九師團 關東軍各參謀長

關東憲兵司令官 朝鮮憲兵隊司令官 羅南憲兵隊長

間島派遣隊長 間島陸軍特務機關長 間島派憲兵隊長

關東廳警務局長

管下一般

I-0773

0293

秋收闘争決議案

強盗日本帝國主義ノ白色テロハ日増ニ殘虐トナリ革命組織ハ多大ノ打撃ヲ受ケツツアルモ勞苦群衆ノ反帝思潮ハ却テ擴大激化セラレ革命戦線ニ決死的進出ヲ取行シツ、アリ
茲ニ於テ東滿特委ハ當面ノ秋收闘争ニ對シ次ノ如ク且体的方針ヲ提出スルニ付各級黨部ハ群衆ノ情勢ト時局ノ環境ヲ正確ニ把握シ廣大ナル勞力農民群衆ヲ^其周圍ニ結束セシメ革命勢力ヲ高揚シ秋收闘争ヲ大々的ニ展開スルコトヲ望ム
一 小作料分配闘争ニ對シテ

一 秋收闘争行動委員會領導ノ下ニ小作人ヲ中心トスル小作分配闘争委員會ヲ地方毎ニ組織シ地主トノ抗争ニ當リテハ分散的各行動ヲ避ケ必附近小作人ヲ團結集合セシメ闘争力量ヲ中心地ニ集中シ一齊ニ抗争セサルヘカラス故ニ群衆ニ對シ團結ハ一種ノ武器ナルコトヲ認識セシムルヲ要ス
二 小作料分配ニ際シ群衆闘争ノ發展微弱ナル地方ニ於テハ四六三七ニハ制ヲ要求セシメ闘争ノ擴大セラレタル處ニ於テハ反革命地主及走狗ノ穀物ヲ全部沒收スヘク闘争方策ヲ採リ若頑固ナル地

I-0773

0294

主アリテ小作人ノ要求ニ應セサルトキ
ハ遊撃隊赤衛隊ヲ動員シ公開的ニ威嚇
又ハ清算スルコト
3. 借地料モ小作分配ノ例ニ準シ之ヲ實行
シ殊ニ東拓會社其ノ他高利貸金融組合
等所有土地ノ小作分配ニ對シテハ其闘
争ヲ一層強硬ニシ農監及出張員ヲ威嚇
又ハ打殺スル外其ノ穀物ヲ沒收シテ小
作人及避難家族等ニ分配スル様夫々領
導スルコト
从群眾ヲ強制的ニ示威運動ニ参加セシメ
又ハ闘争団体ヲ公開的ニ組織シ或ハ穀
物家屋ニ放火スル等ハ時局ニ鑑ミ不利

ノ立場ナルニ依リ相當注意スルヲ要ス
一 負債ト苛捐雜稅反對闘争ニ對シテ
ノ負債及苛捐雜稅反對闘争委員會ヲ秘
密裡ニ組織シ(反革命傾向ヲ有スル
中農富豪ヲ参加セシメ) 群眾ニ對
シ負債及苛捐雜稅反對ノ認識ヲ與ヘ
具體的闘争方式ヲ樹テ債權者行政官
廳官吏ニ對スル延期ノ要求ヨリ抗爭
ヲ始メ目的ヲ達スルコト
2. 遊撃隊赤衛隊ハ高利貸金融業者東拓
會社金融部ノ出張員及全傭人等ヲ打
殺シ高利貸金ノ帳簿地券一切ノ債務
關係帳簿等ヲ燒却スルコト

I-0773

0295

3. 債権者又ハ官廳ニ對シ闘争形態ヲ離レ一種ノ請願式又ハ交渉運動ノ如キ行動ヲナスニ反對スルト共ニ資産家及統治階級ノ欺瞞手段ニ反對スルコト

1. 又金融部東拓會社民會中國ノ官公署等ニ於テ群眾ヲ欺瞞スル為金錢ノ貸付穀物ノ貸與等ヲ行フニ對シテハ群眾ニ階級意識ヲ與ヘツツ富豪又ハ走狗ニ貸與スル分遣モ勞力群眾ノ闘争ニ依リ其ノ貸付又ハ貸與ヲ受ケシムルコト
一 防穀ニ對シテ
各地方毎ニ防穀委員會ヲ組織シ屯又ハ

村ヲ單位トシテ群眾大會ヲ開キ防穀ノ必要ナル理由ヲ徹底的ニ説明シ防穀實行ニ對スル具体的辦法ヲ決議シ若シ決議ニ違反スル者ニ對シハ其ノ穀物ヲ沒收シ貧民及避難家族ニ分配スルコト

一九三二年十月三日

中共黨東滿特委

歐米局

亞細亞局

機密第一一七八號

第三課

昭和七年十月二十日

三讀

在間島

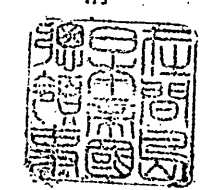
總領事

永

井

清

外務大臣伯爵 内田 康 哉 殿



昭和七年十月二十日滿大機密第七四號寫送付

武 藤 大 使 宛

中國共產黨東滿特委ノ主義宣傳其他指令ニ關スル件

昭和七年拾月廿六日 別紙添付 接受



在間島日本總領事館

I-0773

0297

滿大機密第七四號

昭和七年十月二十日

在間島

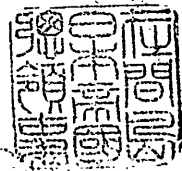
總領事

永井

清

在滿

帝國特派全權大使 武藤信義 啟



中國共產黨東滿特委ノ主義宣
傳其他指令ニ關スル件(彈春報告)

本件ニ關シ中國共產黨東滿特委ニ於テハ所
屬各縣委ニ對シ左記譯文要旨ノ如キ指令ヲ
發シタリト
右報告ス

「党團員ノ教育方法

党員ノ党ニ對スル認識不足ナルヲ以テ特
ニ党ノ基本的常識ヲ簡明ニ記述セル小冊
子ヲ配給スルコトニ決定セリ
勞働者苦農兵士ノ團結方式
革命ノ成功ハ勞働者苦農兵士ノ團結ヲ以
テ蹶起スルニアリ現世界大勢ハ少數ノ有
産階級カ多數ノ無産革命同志ヲ搾取壓迫
シツツアリ即チ外國ノ有産階級各帝國主
義ト一方國內ノ地主高利貸金業者富農及
都市資本家等ハ我革命ノ進路ニ對シ一大
障礙物ナルニ付之ヲ一掃スル為我革命同
志ハ罷工罷業ノ同盟小作闘争負債及苛捐

I-0773

0298

雜税ノ不納同盟ニ奮闘スルニ當リ先ツ無
産大衆ノ一致團結ニ努メ又革命同志ハ彼
リ無産大衆ノ各労働階級苦農兵士ヲ本位
ニ常ニ其團結起ニ領導シ聯合戦術ヲ講
スルコト

三秋收暴動ノ方法

秋收暴動ニ付テハ例年實施シタル通り各
地苦農民ヲ聯合蹶起セシメ各群衆團體ハ
數名ノ代表委員也ヲ領導シ富農地主ニ對
シ平地ハ四分六分山地ハ三分ヲ地主七分
ヲ小作人トシ貧農ニハ富農地主ノ穀物ヲ
分配スルコト但反對者アルトキハ清算法
ニ依リ律スハシ

四駐日本兵士ニ對スル宣傳方式

國內駐日本兵士ニ宣傳スルニハ先ツ日本
文ノ宣傳文ヲ以テ絶エス其ノ營舎ニ撒布
シ出來得レハ通譯其ノ他從業員中ニ我宣
傳員ヲ潜入センムルコト

五亡命同志ノ遺族ニ救助方法

亡命同志又ハ帝國主義鉄窓ニ在ル革命同
志ノ遺族救助ニ就テハ其ノ家族數ニ依リ
生活ニ困難ナキ程度ニ近隣富農ノ貯藏穀
類ヲ分配救済スルコト

本信無送付先

初大臣、奉天、吉林、哈爾濱、長春各總領事、管下一般
朝鮮總督、咸北知事、朝鮮軍、第十九師團、閔東軍、各參謀長
朝鮮、閔東各憲兵隊司令官、羅南憲兵隊長、閔東廳警務局長
閔島派遣隊長、同憲兵長、閔島陸軍特務機關長

式米厨

亞細亞局

第二課

昭和七年七月七日

別紙添付
D

機密第一二四九號

昭和七年十一月二日

在間島

總領事

永

升

外務大臣伯爵 内 田 康 哉 殿



昭和七年十一月二日滿大機密第一〇八號寫送付

武 藤 大 使 宛

一 共產黨赤衛隊及遊擊隊工作ニ對スル延吉縣軍事委員會ノ指令ニ關
スル件

在間島日本總領事館

7.11.7

I-0773

0300

満大機密第一八號

昭和七年十一月二日

在間島

總領事 永井 清

在滿

帝國特派全權大使武藤信義殿

共產黨赤衛隊及遊撃隊ノ工作ニ
對スル延吉縣軍事委員會ノ指令
ニ關スル件 (諜知)

本件ニ關シ共產黨延吉縣軍事委員會ハ別
紙譯文ノ如キ指令ヲ十一月二十日所屬各
級黨團ニ送付シタリト嚴密警戒中ナリ

右報告ス

本信寫送付先

外務大臣 奉天 吉林 哈爾濱 長春 各總領事

關東軍參謀長 關東朝鮮各憲兵隊司令官

朝鮮總督 咸北知事

間島派遣隊長 間島派遣憲兵長 間島陸軍特務機關長

管下一般

延吉縣軍事委員會指示第一號

一 遊擊隊ハ十月十日迄ニ全部産業化シ各區
 處女地帯又ハ敵ノ注目ヲ受ケサル村落ニ
 分散シ一箇所ニ三人以内ヲ配置スルコト

二 敵ニ歸順シタル中國叛變部隊ト遊擊隊ト
 ノ衝突ヲ避ケ彼等ト感情的ニ對立セサル
 様努メ彼ノ下層兵士裏ニ中國人同志ヲ派
 遣シ兵變ヲ誘發スルニ努ムルコト

三 秋收鬭爭完全ニ展開サレタル地方ニ於テ
 ハ走狗清算ヲ當分ノ間中止シ更ニ鬭爭ノ
 發展ヲ企圖スルコト

四 敵ノ威迫的ニ組織シタル自衛團ニ對シテ
 ハ反對セズ其ノ群衆ニ革命認識ヲ興ヘ革

命自衛隊化ヲ計リ各自革命任務ヲ遂行ス
 ル様誘導スルコト

五 赤衛隊少年先鋒隊ノ模範隊ハ全部武装ヲ
 準備スルコト而シテ其ノ敵ノ武装ヲ奪取
 スル力量ナキモノハ武装準備金トシテ金
 五十圓以上(銃一挺代)ノ縣軍事委員會ニ送付
 スルコト

六 日滿軍隊ノ駐屯地ニ赤衛隊員ヲ配置シ日
 滿兵士ノ姓名ヲ調査シ十日以内ニ報告ス
 ルコト

一九三二年一月二十日
 中共延吉縣軍事委員會